

平成 1 9 年度

長崎県果樹試験場業務報告

平成 2 0 年 1 0 月

長崎県果樹試験場

# 平成19年度 長崎県果樹試験場業務報告目次

## I. 概要

1. 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 業務内容・分掌事務・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4. 職員の配置と異動・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
5. 施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
6. 位置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
7. 場内配置図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
8. 決算（歳入・歳出）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

## II. 研究業務の概要

1. 平成19年度試験研究課題と概要・・・・・・・・・・ 10
2. 会議等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

## III. 技術指導

1. 来場者数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
2. 問い合わせ・相談対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
3. 受託研修等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
4. 視察研修対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
5. 技術支援のための会議出席・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

## IV. 研究成果の発表

1. 刊行物等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
2. 学会等における口頭、ポスター発表・・・・・・・・・・ 45
3. マスコミ等を通じた研究成果の発表・・・・・・・・・・ 46
4. 地区別報告会における研究成果の発表・・・・・・・・ 47
5. 長崎県果樹技術者協議会研修会  
における研究成果の発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47

## V. 学会出席、職員研修

1. 学会出席・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
2. 職員の研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

## VI. 気象

1. 長崎県果樹試験場気象表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51



## 概要

### 1.沿革

昭和29年4月	農業試験場大村園芸分場発足。そ菜担当、果樹担当を配置
昭和36年7月	機構改革により総合農林センター果樹部となる。栽培科、環境科の2科編成
昭和38年4月	県北柑橘指導園新設
昭和39年4月	施肥改善科（指定試験）新設
昭和44年4月	環境科を病害虫科と改名
昭和45年4月	長崎県総合農林試験場果樹部と改名
昭和47年4月	長崎県果樹試験場として独立
昭和48年4月	栽培科にビワ育種指定試験地設置
昭和50年3月	県北柑橘指導園廃止
昭和53年4月	ビワ育種科（指定試験）新設
昭和56年4月	落葉果樹（ナシ、ブドウ、キウイ）の栽培試験始まる。
昭和58年4月	施設整備計画により本館、調査棟が改築される。
昭和63年4月	栽培科が常緑果樹科と落葉果樹科に分かれ、それぞれ独立科となる。
平成8年3月	ミカンの土壤肥料指定試験廃止
平成15年4月	県内7公設試験研究機関を統括する政策調整局所管となる。 施肥改善科を廃止
平成16年4月	研究企画室を新設。常緑果樹科と落葉果樹科を統合し生産技術科となる。 ミカン育種開始
平成18年4月	県内7公設試験研究機関を統括する科学技術振興局所管となる。

### 2.業務内容・分掌事務

#### 1)業務内容

##### (1)平成19年度試験研究の取り組み方向

傾斜地が多く、温暖な気候に恵まれた長崎県においてミカン、ビワ等の果樹は重要な地域産業であるが、果樹生産者の高齢化・婦女子化や耕作放棄地の増加など生産基盤が弱体化しつつある。また、平成18年9月に襲来した台風により大きな被害を受け、今もその影響が残っている。さらに、輸入果実の増加や価格低迷など、果樹生産者のおかれている環境は大変厳しいものがある。

消費者の健康志向の高まりによって果物が見直されている一方で、若年層を中心とした食の簡便化による果物離れが進んでおり、需要は伸び悩んでいる。このような状況の中、果樹農業の果たす重要性を踏まえ、多様な消費者ニーズに的確に対応した果物を安定的に提供できる技術の開発が緊急の課題である。

このため、「ながさき夢・元気づくりプラン（長崎県長期総合計画後期5カ年計画）」、「長崎県農政ビジョン後期計画」や各種実行計画の実現に向け、生産現場の課題解決に直結した技術開発に重点をおき、果樹試験場の総力を挙げて取り組んだ。

具体的には、長崎ブランドを確立する高品質で安定した生産ができるビワ、ミカンの新品種の育成と本県の地域特性を生かした高品質果実の生産技術の開発に取り組んだ。また、果樹生

産者の高齢化・婦女子化や労力不足への対応とゆとりある果樹経営を定着させるための低樹高省力栽培、並びに栽培技術の改善による作業の軽労化などの研究開発に取り組んだ。消費者ニーズに対応した高品質果実の生産と食の安全・安心の確保及び環境保全の両立を図るため、病害虫発生予察技術、天敵等の利用など環境負荷の少ない農業技術の開発に取り組んだ。

さらに、果樹分野だけでは解決が困難であっても、他分野と連携すると課題解決が効率的になる研究課題については、産学官連携共同研究による研究開発を積極的に推進した。

#### 長崎ブランド確立を支援する技術開発

消費者の嗜好が多様化する中で、果実生産には高品質化が求められており、また、持続的な果樹経営を成り立たせるためには生産の安定を図る必要がある。そこで、個性を有し高品質で安定した生産が可能なビワ、ミカンの品種の育成・選抜に取り組んだ。また、ミカン、ビワや落葉果樹の品質向上のための革新的な技術開発や地域特性を活かした果樹の安定生産技術確立のための試験に取り組んだ。

#### 省力・低コスト生産技術の確立

果樹生産者の高齢化・婦女子化や労力不足への対応とゆとりある果樹経営の定着を図るため、わい性台木等の利用や新しい整枝法による果樹の低樹高化栽培技術の確立試験に取り組んだ。また、果樹経営の規模拡大と農作業の合理化を図るため、機械化や労力の分散を前提とした新しい栽培技術の開発に取り組んだ。

#### 農産物の安全・安心確保のための技術開発

消費者ニーズに対応した果樹生産を行うため、病害虫の発生生態の解明、被害解析及び発生予察技術の開発を行い、耕種的、物理的、生物的防除技術の活用による化学農薬低減技術の確立に取り組んだ。

#### 豊かな環境と持続的農林業のための技術開発

化学農薬の低減等による環境負荷の少ない農業技術の開発に取り組んだ。

#### バイオテクノロジー等を活用した革新的技術の開発

ビワ育種の効率化を図るため、主要形質の遺伝解析を行うとともに、バイオテクノロジー、特にDNA解析による新しい育種技術の開発に取り組んだ。また、DNA解析技術を利用した合理的防除法を開発を目指すとともに、機能性成分の同定並びに多様な遺伝資源について、その評価に取り組んだ。

#### 産学官連携による共同研究及びプロジェクト研究の推進

多分野にまたがる研究課題については総合的に各分野の知識や技術を結集し、プロジェクト研究体制を編成するなど迅速な課題解決に努めた。また、大学や国の研究機関、民間企業との連携を深め、情報交換など交流を図り、共同研究を推進し高度な内容への対応や製品化などに取り組んだ。

#### 緊急的、突発的課題の解決

カンキツ、ビワ、落葉果樹で突発的に発生した生理障害及び病害虫の診断と防止・改善法の検討を行い、生産現場の指導に対応した。

## 2) 分掌事務

### (1) 総務課

ア．公印の管守に関すること

イ．職員の身分、服務、給与、福利厚生等に関すること

ウ．予算の編成、執行、決算に関すること

- エ．公有財産及び物品の管理に関すること
- オ．現金及び証券の出納保管並びに物品の検収及び出納に関すること
- カ．文書の收受、発送、保存に関すること
- キ．図書及び資料保存に関すること
- ク．他科の所管に属しないこと

( 2 ) 研究企画室

- ア．科学技術振興連絡調整に関すること
- イ．九州農業試験研究推進会議に関すること
- ウ．県農林業試験研究推進会議に関すること
- エ．研究事業評価委員会等に関すること
- オ．業務報告作成に関すること
- カ．農林水産省等への報告に関すること
- キ．研究員の研修に関すること（長期、短期）
- ク．農業大学校研究部研修に関すること
- ケ．海外研究、研修生受け入れ等研修計画に関すること
- コ．成果情報の提供に関すること
- サ．視察研修の調整に関すること

( 3 ) 生産技術科

- ア．果樹の栽培試験に関すること
  - (ア) 温州ミカンの生産安定及び品質向上試験
  - (イ) 中晩生カンキツの生産安定及び品質向上試験
  - (ウ) ビワの生産安定試験に関すること
  - (エ) 落葉果樹の新品種適応性試験
  - (オ) 温暖化に対応した落葉果樹の生育調節技術と低コスト施設栽培の開発
  - (カ) 新整枝法による落葉果樹管理作業の軽労化と多収技術の開発
  - (キ) 特定果樹の栽培法に関する試験
  - (ク) 本県特産茶葉・ビワ葉の有効成分を活用した高機能性茶葉の開発（共同プロジェクト研究）
  - (ケ) 常緑・落葉果樹の植物調節剤の利用法に関する試験
  - (コ) 新営農技術確立現地実証試験
  - (サ) 果樹の土壌肥料に関する試験
- イ．果樹の振興に必要な研修、調査
- ウ．試験圃場、建物、施設及び物品の管理

( 4 ) 育種科

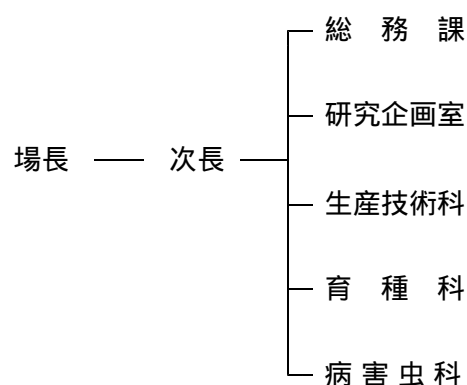
- ア．ビワ育種試験に関すること
  - (ア) ビワ新品種の育成
  - (イ) 育種素材の探索、作出と評価
  - (ウ) 育種関連技術の確立
  - (エ) ビワ新系統の特性
- イ．カンキツ育種試験に関すること

- (ア)カンキツの育種
- (イ)優良品種の探索
- (エ)新系統の特性調査
- ウ．試験圃場、建物、施設及び物品の管理に関すること
- エ．果樹振興に必要な研修、調査に関すること

(5)病害虫科

- ア．果樹の病害虫試験の企画、調整に関すること
- イ．果樹病害虫の生態及び防除法試験に関すること
- ウ．果樹病害虫の少農薬防除技術の開発に関すること
- エ．突発性病害虫防除対策に関すること
- オ．発生予察技術の開発に関すること
- カ．果樹ウイルス無毒化及び健全母樹育成に関すること
- キ．果樹病害虫試験圃場、建物、施設及び物品の管理に関すること
- ク．果樹振興及び植物防疫上の研修、調査に関すること

3. 組織（平成19年4月1日現在）



4. 職員の配置と異動

1) 職員の配置（平成19年4月1日現在）

	行政職			研究職					現業職	合 計
	課長	係長	技師	場長	次長	室科長	専門研究員	主任研究員	技師	
場 長				1						1
次 長					1					1
総務課	1	1							1	3
研究企画室						(1)		(1)		(2)
生産技術科						1	1	4	3	9
育種科			1			1		2	2	6
病害虫科						1		2	1	4
合 計	1	1	1	1	1	3 (1)	1	9 (1)	7	24(2)

( ) 兼務

所 属	職 名	職員氏名
	場 長	濱 口 壽 幸
	次 長	早 田 栄一郎
総務課	課 長	満 重 新 矢
	係 長	宮 田 茂 実
	技 師	池 田 安 子
研究企画室	室 長(兼)	早 田 栄一郎
	主任研究員(兼)	宮 崎 俊 英
生産技術科	科 長	林 田 誠 剛
	専門研究員	井 手 勉
	主任研究員	徳 嶋 知 則
	"	田 中 実
	"	松 浦 正
	"	荒 牧 貞 幸



(つづき)

所 属	職 名	職員氏名
	技 師	与 崎 進一郎
	"	嶋 田 義 昭
	"	鶴 田 浩 徳
育 種 科	科 長	谷 本 恵美子
	主任研究員	稗 圃 直 史
	"	福 田 伸 二
	技 師	中 山 久 之
	"	丸 田 助 喜
病 害 虫 科	"	石 川 清 治
	科 長	寺 本 健
	主任研究員	菅 康 弘
	"	宮 崎 俊 英
	技 師	山 口 祐 一郎

2) 職員の異動

(1) 転入者(平成19年4月1日付)

氏 名	新 所 属	旧 所 属
濱 口 壽 幸	場長	五島地方局農林水産部
宮 田 茂 実	総務課係長	環境部廃棄物・リサイクル対策課
荒 牧 貞 幸	生産技術科主任研究員	長崎農業改良普及センター
中 山 久 之	育種科技師	新採

(2) 転出者(平成19年4月1日付)

氏 名	新 所 属	旧 所 属
古 川 忠	農業大学校	生産技術科
富 永 由紀子	科学技術振興課	育種科

(3) 場内異動(平成19年4月1日付)

氏 名	新 所 属	旧 所 属
な し		

(4) 退職者(平成19年3月31日付)

氏 名	旧 所 属	備 考
井 手 勉	生産技術科専門研究員	
池 田 安 子	総務課技師	

5. 施設概要

1) 所在地

名 称	所 在 地	TEL	交 通 の 便
長崎県果樹試験場	〒856-0021 大村市鬼橋町1370	0957-55 -8740	J R : 大村線竹松駅下車 2 k m 徒歩約25分 バス : 原口バス停下車 タクシー5分

2) 建物

本館、栽培実験棟、病理実験棟、害虫実験棟等 8,345 m<sup>2</sup>

3) 土地

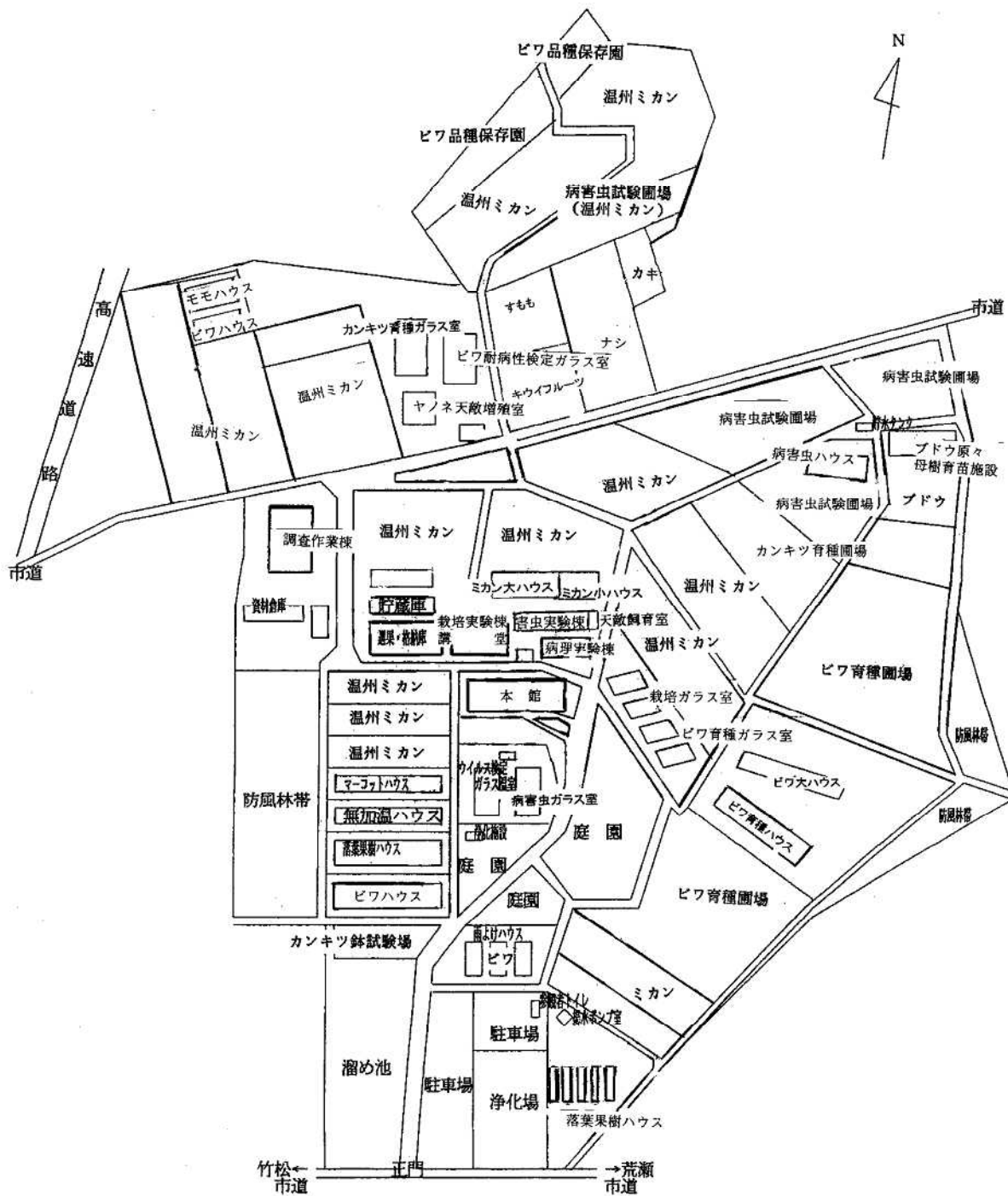
圃場 52,350 m<sup>2</sup> ガラス温室、ビニールハウス施設等 6,345 m<sup>2</sup>

建物敷地 2,625 m<sup>2</sup> 道路、庭園、防風林等 50,351 m<sup>2</sup>

6. 長崎県果樹試験場 位置図



7. 長崎県果樹試験場 場内配置図



8. 決算（歳入・歳出）

単位 円

歳 入	一般財源	31,973,993
	国庫支出金（委託費）	5,567,000
	その他（財産収入、諸収入、令達）	21,726,780
	計（ + + ）	59,267,773
歳 出	果樹試験場費	48,437,993
	運営費	9,310,993
	試験研究費	30,595,000
	（温州ミカンの新品種の適応性）	(548,000)
	（カンキツ病害虫の防除法）	(2,918,000)
	（果樹園における植物調節剤利用法）	(548,000)
	（ビワの育種に関する試験）	(7,766,000)
	（ビワ新系統の県内適応性調査）	(1,268,000)
	（機能性成分に富む有望中晩生カンキツの高品質果安定生産技術の確立）	(1,131,000)
	（新資材による温州ミカンの品質向上技術の開発）	(1,432,000)
	（温州ミカンにおける化学合成農薬の散布回数を半減した病害虫管理技術の確立）	(2,174,000)
	（長崎ブランド「出島の華」の安定生産技術の確立）	(1,667,000)
	（新整枝法による落葉果樹管理作業の軽労働化と多収技術の開発）	(1,186,000)
	（温暖化に対応した落葉果樹の生育調整技術と低コスト施設栽培の開発）	(1,052,000)
（落葉果樹の重要病害虫防除法）	(1,515,000)	
（果樹のウイルス抵抗性健全母樹の育成と特殊病害虫調査）	(1,175,000)	
（ビワ新品種による超多収・良食味果実の生産技術の確立）	(1,852,000)	
（圃場管理）	(3,717,000)	
（研究広報）	(646,000)	
施設整備費	8,532,000	
樹試験場費以外の令達	（本県特産茶葉・ビワ葉の有効成分を活用した高機能性茶葉の開発）	10,829,780 (999,100)
	（カンキツの育種）	(1,690,000)
	（集合フェロモンを利用した果樹カメムシ類の発生予察技術の現地実証）	(400,000)
	（特定果樹の栽培法）	(820,000)
	（スモモの簡易被覆平棚栽培における大玉果生産技術の実証）	(231,500)
	（ハウスビワの耕種的防除を基軸とした病害虫管理技術の実証）	(174,900)
	（その他）	(6,514,280)
	計（ + ）	59,267,773
人件費	職員給与費	206,790,064

## 研究業務の概要

### 1. 平成19年度試験研究課題と概要

#### 1) 温州ミカンの新品種の適応性(昭49~)

品質良好な極早生温州や12~1月に出荷できる完熟栽培に適した系統を選抜し、普及する。

##### (1) 県外有望系統・品種の果実特性の検討

場内に植栽した県外で優良な形質を示す系統・品種の果実特性を調査した。

##### (2) 県内選抜優良系統の果実特性の検討

場内に植栽した県内各地から突然変異の可能性があると注目された系統について果実特性を調査した。

#### 2) カンキツ病害虫の防除法(昭59~)

カンキツ病害虫のより有効な防除法を確立するとともに、新農薬の実用化を図る。

##### (1) カンキツ病害虫の防除法の検討

##### (2) カンキツ新殺菌剤・新殺虫剤の効果判定

主要病害虫に対して防除効果が高く、より安全な薬剤を試験、選定し、県病害虫防除基準に採用した。かいよう病、果実腐敗、ミカンハダニ、ミカンサビダニなど主要な病害虫の効果的な防除対策を明らかにした。

#### 3) 果樹園における植物調節剤の利用法(平1~)

果樹園における除草剤の効果、植物調節剤の実用化について検討した。

カンキツ園においてNNKH100液剤は高い殺草効果が期待でき、抑草期間も長く、薬害の発生も認められなかったことから実用性が高いと判断された。カンキツに対するAKD-8147水溶液は夏秋梢発生抑制効果が認められた。温州ミカンにおいて、ジャスモン酸とジベレリンの混合液を散布することにより品質の向上と浮き皮軽減効果が認められた。

#### 4) ビワの育種に関する試験(平18~22)

ビワ栽培の経営規模拡大と新産地育成のため、労力の配分と節減、品質の向上及び生産の安定等を図る必要がある。このため、大果性、良質性、早熟性、日持ち性、耐病性、無核性、耐寒性、おいし性等を備えた新品種を育成する。また、高齢化社会が進む中で、健康を維持するための機能性食品の需要が増大しているので、機能性成分に富んだ品種を育成する。また、上記目的を達成するため、ビワの遺伝資源を収集、保存するとともに、必要に応じて提供できる体制を整える。

##### (1) 第2次育種試験(昭61~平成12年)では、7個体を優良系統として選抜し、平成14年度から第3回系統適応性検定試験として実施中である。その結果、「長崎15号」を新品種候補として選抜し、品種登録出願した。さらに、新たに5系統を選抜し、平成17年度から第4回系統適応性検定試験を実施している。

##### (2) SSRマーカーによるビワの品種識別法を確立した。

#### 5) 機能性成分に富む有望中晩生カンキツの高品質果安定生産技術の確立(平16~20)

消費者の果実への健康志向に対応するため、中晩生カンキツ新品種の中でも機能性成分に富む有望品種について安定生産技術を早期に確立し、普及を図る。

##### (1) 独立行政法人農研機構 果樹研究所が育成したカンキツの13系統について果実の特性調査を行った。これまでに、糖度が高く果皮が滑らかで赤味が強く早熟な系統、施設栽培で安定して高品質果実の生産が見込める系統を選定し、それぞれ「べにばえ」「津之輝」と命名登録された。

##### (2) 省加温施設栽培の「せとか」において、収穫時の階級がM級から3L級までの果実は満開60日後および満開80日後の横径から精度よく予測でき、摘果指標として利用できることを明らかにした。

##### (3) 施設栽培「麗紅」の幼果期に果形指数が高い扁平な果実は、その後裂果しやすいことから、摘果時にできるだけ果形指数が低い腰高の果実を残すことにより裂果の軽減が図れることを明らかにした。

##### (4) 露地栽培「せとか」の果実の等級低下(外観阻害)の原因としては、枝葉・とげによる風傷果が多い。そのため果実肥大期にテロン製の果実袋をかけると果面の傷や褪色の発生を軽減できることを明らかにした。

- (5) 「麗紅」「せとか」及び「はるか」について、それぞれの適期収穫の目安となる成熟特性を明らかにした。
- 6) 新資材・新栽培法による温州ミカン品質向上技術の開発(平16~20)  
透湿性のシートマルチと同等の効果があり低コストが図られる土壤被覆資材の検討及びシートマルチの効果を高める栽培法や、シートマルチに頼らない栽培法として期待されるわい性台木や根群制御技術を利用した高品質安定生産による品質保証果実生産技術を開発する。
- (1) 7種類のシートマルチ資材についてその効果などを調査した結果、有孔ビニールシートに比べ、透湿性シートは樹体のストレスがかかりやすく、糖度も高かった。
- (2) 建設機械を用いて4月もしくは6月に断根処理を行うと、7月にシートマルチを被覆するのと同様かやや高い糖度向上効果が認められた。
- (3) 高糖系温州において、わい性台木のヒリュウを用いると、カラタチ台に比べ果実糖度が1度程度高く、かつ中玉果実割合が高く、浮き皮の発生が少なかった。また、ヒリュウ台の土壤別わい性効果や安定生産のため初着果時期や幼木期の樹齢別着果法、葉果比を明らかにした。
- 7) 温州ミカンにおける化学合成農薬の散布回数を半減した病害虫管理技術の開発(平16~20)  
各種防除資材、防除技術が病害虫の発生態態に及ぼす影響を評価し、これら資材の適切な利用法とその効果を明らかにし、化学合成農薬を半減する病害虫制御技術を開発する。
- (1) 黒点病防除剤にマシン油乳剤を加用することにより、黒点病の防除効果が高まり、同時に夏期のミカンハダニを低密度で管理できることを検証した。
- (2) 光反射マルチに併せ、マシン油乳剤等の天然資材を活用することで病害虫被害を慣行の薬剤防除並みに抑えることができた。
- (3) 以上の結果を踏まえ、「化学合成農薬の使用回数を半減した防除体系(試案)」を作成した。
- 8) 長崎ブランド「出島の華」の安定生産技術の確立(平16~19)  
「させば温州」は、土壤乾燥による水分ストレスを与えることで糖度が高くなるなど優れた形質を持っており、「出島の華」などの長崎ブランドで出荷され、全国的に高い評価を受けている。しかし、発生する芽の数が多いことなどから樹冠の拡大が遅い、結実が不安定で着果が少ないと品質がばらつくなど、これまでの品種とは樹体特性が異なり栽培上の課題となっている。そのため、効果的な増糖技術と生産が連年安定するための結実管理技術を確立する。
- (1) 植え付け4年目で本格着果させるための樹冠拡大法を明らかにした。
- (2) 「させば温州」の常温貯蔵における果実品質の変化について明らかにした。
- (3) 着花が不安定な若齢樹で、シ-トマルチと植物生長調節剤(エチクロゼート)併用により夏秋季の発芽、発根を抑制させることで着花促進を図る技術を開発した。
- (4) 新梢が多い樹では、生理落果防止のため開花期の芽かきとジベレリン散布の併用の効果が高いことを明らかにした。
- (5) 生産が安定した樹の着果数および葉果比を明らかにした。
- 9) 新整枝法による落葉果樹管理作業の軽労化と多収技術の開発(平14~19)  
ナシ、モモ、スモモ、ブドウの栽培管理の平易化、簡素化のために各樹種に適した新整枝法を開発する。併せて、新整枝法における高品質果実の多収技術を確立する。
- (1) ナシでは台風などで不時開花し、翌年の着果数の不足が予想される場合、花芽を接ぎ木すると果実品質に差はなく、収量の確保が可能であることが明らかとなった。
- (2) 樹勢の強いモモでは開花期の環状剥皮処理が樹勢の安定、熟期促進及び品質向上に有効であり、果実重も重くなった。また、環状剥皮の幅は主枝径の5%で実施しても、開花3週間後に植物成長調整剤を散布することで10%幅の環状剥皮と同等の果実肥大効果が認められた。
- (3) スモモでは簡易雨除け平棚栽培において「りょうぜん早生」及び「李王」の着果程度と果実品質の関係について明らかにした。また、主要品種の交配親和性を調査し、「貴陽」との交配親和性は「ハリウッド」が最も高かった。
- (4) ブドウ「巨峰」では満開時にストレプトマイシン処理とジベレリン及びホルクロルフェニユロン処理を一括して行うことで、無核果処理回数が軽減でき、無核果率の高い果実を生産できることが明らかとなった。

10) 落葉果樹の重要病害虫防除法 (昭59~)

落葉果樹重要病害虫のより有効な防除法を確立するとともに、新農薬の実用化を図る。

(1) ナシ、ブドウ、モモ病害虫の防除法の検討

(2) ブドウ、モモ等落葉果樹の病害虫に対する殺菌剤、殺虫剤の効果判定

主要病害虫に対して防除効果が高く、より安全な薬剤を試験、選定し、県病害虫防除基準に採用した。ブドウ黒とう病、モモせん孔細菌病、カメムシ類等の主要な病害虫の効果的な防除対策を明らかにした。

11) 果樹ウイルス抵抗性健全母樹の育成と特殊病害虫調査 (昭58~)

カンキツの主要な品種、今後有望な系統について無毒化するとともに弱毒ウイルスを接種してウイルス免疫を育成する。また、果樹で異常発生及び新規発生した病害虫の防除対策を確立するとともに、近年本県に導入されている各種新果樹及び新作型における病害虫の防除対策を確立する。

(1) カンキツの33品種についてウイルス・ウイロイドを無毒化し、原々母樹として育成、保存中である。

(2) 中晩生カンキツの4品種に有望な弱毒ウイルスを接種し、母樹として育成した。

(3) ビワの果実腐敗、ナシマルカイガラムシ等の防除対策を検討中である。

12) ビワ新品種による超多収・良食味果実生産技術の確立 (平18~22)

本県のビワは茂木種に偏っており、収穫出荷の作業が集中するため、生産農家は経営規模が零細で、生産される果実は小玉で収量も少ないのが現状である。果樹試験場では最近、「麗月」「涼峰」を育成し、今後も特徴ある形質を持った「長崎15号」等の数系統が、品種として登録される見込みである。これらは大果で糖度が高く、果肉が柔らかい等、品質的に優れているが、栽培特性については不明な点が多い。これらの品種を現地に早急に普及させ経営的に魅力あるものにするため、多収で安定的に果実を生産する技術について確立する。

(1) 施設栽培「麗月」の幼木の樹冠拡大の特性を明らかにした。

(2) 「麗月」は「長崎早生」と比較して単位面積当たりの枝数及び葉数が少ないが、切り戻し主体のせん定を行うことでそれらが増加することを明らかにした。

13) ビワ新系統の県内適応性調査 (平19~23)

育種試験で育成した新系統の露地栽培及びハウス栽培における樹勢、果実品質等の特性を明らかにする。

(1) 第3回系統適応性検定試験供試系統の県内ビワ産地における樹体特性及び果実特性を調査した。その結果、大果で食味が良好で果皮障害も少ない「長崎15号」を品種候補として選抜した。

14) 海外導入遺伝資源を利用したビワがんしゅ病複合抵抗性育種素材の開発 (平19~21)

ジ・ンバンク事業により海外から導入したがんしゅ病複合抵抗性系統と果実品質の優良な品種等との雑種を育成し、がんしゅ病複合抵抗性と良質性を併せ持つ育種素材を開発する。また、シャンパンに代わるがんしゅ病抵抗性台木用育種素材を開発する。

(1) 複合抵抗性である ギリシャ87-58、ベトナムNo.4 および 霞楼白蜜 と 茂木 との交雑を行い、交雑実生を育成した。

(2) がんしゅ病Aグループ菌に抵抗性である7系統について、抵抗性の遺伝子型を検定したところ、ギリシャ87-68、ベトナムNo.7 および ベトナムNo.8 はAグループ菌抵抗性遺伝子をホモで持つと推定されたため、台木用育種素材として有望であることが明らかになった。

15) 温暖化に対応した落葉果樹の生育調整技術と低コスト施設栽培の開発 (平19~23)

温暖化に対応できる施設落葉果樹の安定生産技術として、モモの新たな休眠打破剤や休眠覚醒の低温要求量が少ない台木を探索し使用方法等を検討する。ブドウでは果実袋内の環境要因と、果皮の発色、着色程度の解析を行い、着色障害の回避技術を確立する。省エネルギー型施設栽培体系の確立として、低温期に空気膜を利用した保温方法の改良や変温システム等による加温コストの削減方法を検討する。

(1) モモにおいてスーパークロロゲン4倍、CX-10 10倍液の散布は開花速度が速まり、休眠打破効果が示唆された。

(2) ブドウでは袋内の気温が慣行より低くなる果実袋を用いると果実着色が優れる傾向があった。

16) カンキツの育種 (平16~20)

本県独自のカンキツ新品種を育成し、新たなブランドの確立を図るため、温州ミカンの珠心胚実生の変異の選抜を中心としてカンキツの新品種の育成に取り組む。

- (1) 新系統の作出のため10組み合わせの交配を行った。また、561個体を本圃に接ぎ木した。
- (2) 平成12~17年にかけて交配し、本圃に接ぎ木した1866系統のうち396系統の果実調査を行った。

17) 落葉果樹の新品種の適応性 (平5~)

ナシの新品種の本県での栽培適応性を検討した。

18) 集合フェロモンを利用した果樹カメムシ類の発生予察技術の現地実証 (平17~19)

果樹カメムシの発生予察技術の精度向上及び効率化を図るため、集合フェロモントラップによる誘殺数、ヒノキ球果の口針鞘数、ヒノキ上の寄生虫数の推移を調査し、予察技術の現地実証を行った。

19) 特定果樹の栽培法 (昭58~)

県の振興対象果樹以外で今後需要が見込まれる新規導入果樹について試作を行う。特に近年健康志向で注目されているブルーベリー、マンゴーなどを試作し、本県での栽培適応性を検討した。

20) スモモの簡易被覆平棚栽培における大玉果生産技術の実証 (平19~20)

スモモは自家不和合性を示す果樹であり、交配親和性がある他品種との受粉が必要であるが、スモモの開花期頃は外気温が低く訪花性昆虫の活動も低下しているため、結実が不安定となりやすい。また、スモモは大果ほど糖度が高く食味も優れることから、適期の摘果や適正な着果負担での栽培が必要である。なお、平棚での栽培では徒長枝の発生が多くなり、放置しておくとも棚面の受光体勢が悪くなり、果実品質や花芽着生率低下の要因にもなる。

そこで、現地での普及を図るため、これらの果実品質向上のための技術を実証した。

21) ハウスビワの耕種的防除を基軸とした病害虫管理技術の実証 (平18~19)

ハウスビワの果実腐敗を防止するために、ハウス天井部開花直前被覆による高い防除効果を生産現場で実証した。あわせてハウスビワにおけるナシマルカイガラムシの発生生態を明らかにし、これに基づいた合理的な防除体系の構築を図るため、発生消長調査を行った。

22) 本県特産茶葉・ビワ葉の有効成分を活用した高機能性茶葉の開発 (平17~19)

混合発酵茶の安定供給に必要なビワ葉の生産技術について検討し、機能性からみたビワ品種の選定、葉齢、保存方法、施肥量の影響、若木での摘採方法などについて明らかにした。



2. 会議等

1) 科学技術振興課関係会議等

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
4.5	研究機関長会議	科学技術振興課	長崎市	場長	1
4.20	農業系研究機関あり方検討機能・組織ワーキング	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
5.9	知事との意見交換会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
5.11	農業系研究機関あり方検討機能・組織ワーキング	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
5.14	研究機関評価委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
5.16	農業系研究機関あり方検討ワーキング会議	科学技術振興課	長崎市	場長	1
5.21	農業系研究機関あり方検討委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
5.25	議会勉強会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
5.31	研究事業評価委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	3
6.15	研究事業評価委員会農林分野評価分科会	科学技術振興課	長崎市	場長他	4
7.17	研究事業評価委員会農林分野評価分科会	科学技術振興課	長崎市	場長他	6
7.24	農業系研究機関あり方検討ワーキング会議	科学技術振興課	長崎市	場長	1
7.26	研究機関成果発表会	科学技術振興課	諫早市	場長他	4
7.30	農業系研究機関あり方検討委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
7.31	研究機関評価委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
8.6	研究事業評価委員会農林分野評価分科会	科学技術振興課	諫早市	場長他	6
8.20	研究事業評価委員会農林分野評価分科会	科学技術振興課	諫早市	場長他	2
8.30	議会勉強会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
9.10	研究機関評価委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
9.11	研究事業評価委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	3
9.14	科学技術振興課との意見交換	科学技術振興課	長崎市	育種科	1
10.2	農林3試験場長会と科学技術振興課打合せ	科学技術振興課	諫早市	場長	1
10.4	局長ヒアリング	科学技術振興課	長崎市	場長	1
10.19	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産・病虫	2
10.22	研究事業評価委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
10.25	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	病害虫科	1
10.26	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産技術科	1
11.1	局長との意見交換	科学技術振興課	長崎市	次長	1
11.5	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産・病虫	2
11.9	研究機関評価委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
11.12	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産技術科	1
11.19	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産・病虫	2
11.22	議会勉強会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
11.26	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産技術科	1

1) 科学技術振興課関係会議等(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
12.7	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産・病虫	2
12.10	人事ヒアリング	科学技術振興課	長崎市	場長	1
12.13	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産・病虫	2
12.19	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産・病虫	2
12.26	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生・病・育	3
1.8	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	生産技術科	1
1.10	科学技術振興課との打合せ	科学技術振興課	長崎市	場長	1
1.17	農業系研究機関あり方食品加工ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	育種科	1
1.17	人材育成推進部会	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
1.21	農業系研究機関あり方ワーキング会議	科学技術振興課	諫早市	病害虫科	1
1.31	研究機関評価委員会	科学技術振興課	長崎市	場長	1
2.8	地域資源活用セミナー	科学技術振興課	長崎市	育種科	1
2.12	議会勉強会	科学技術振興課	長崎市	場長他	2
2.19	ピワ新品種名称選定委員会	科学技術振興課	長崎市	場長	1
2.20	人材育成推進部会	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
3.12	業績評価面談	科学技術振興課	長崎市	場長	1
3.18	科学技術振興会議	科学技術振興課	長崎市	場長他	2

2) 企画担当者会議等

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
4.11	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	2
5.22	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
6.22	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	2
7.13	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	2
8.17	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
8.24	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
9.5	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
10.10	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
10.30	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
11.20	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
12.25	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
1.24	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
3.3	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1
3.13	研究機関企画担当者会議	科学技術振興課	長崎市	研究企画室	1

3) 連携プロジェクトおよび分野融合関係

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
5.14	高機能性茶葉業務打合せ	総合農林試験場	長崎市	生産技術科	1
5.17	分野融合ヒアリング	総合農林試験場	長崎市	生産技術科	1
5.31	高機能性茶葉試験打合せ	総合農林試験場	長与町	生産技術科	1
7.9	分野融合研究打合せ	総合農林試験場	諫早市	生産技術科	2
7.18	高機能性茶葉試験打合せ	科学技術振興課	長崎市	生産技術科	1
7.19	分野融合研究打合せ	総合農林試験場	長崎市	生産技術科	2
8.2	高機能性発酵茶製造打合せ	総合農林試験場	東彼杵町	生産技術科	2
8.7	分野融合研究打合せ	総合農林試験場	長崎市	生産技術科	2
10.16	分野融合研究打合せ	総合農林試験場	諫早市	生産技術科	2
10.29	活性酸素研究会	総合農林試験場	諫早市	生産技術科	1
11.2	連携プロジェクト意見交換会	科学技術振興課	長崎市	生産技術科	1
12.18	高機能発酵茶プロジェクト推進会議	科学技術振興課	長崎市	生産技術科	3
12.27	高機能発酵茶研究協議	科学技術振興課	福岡市	生産技術科	1
2.8	分野融合研究打合せ	総合農林試験場	長崎市	生産技術科	3
3.6	植物ストレス診断手法研究会	総合農林試験場	諫早市	生産技術科	2
3.7	高機能発酵茶プロジェクト推進会議	科学技術振興課	長崎市	生産技術科	3

4) 総務関係会議等

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
5.10	振動工具使用者健康診断	職員厚生課	長崎市	農事員	6
5.16	危機管理対応指針に係る説明会	危機管理防災課	諫早市	総務課	1
8.21	メンタルヘルス説明会	職員厚生課	諫早市	総務課	1
8.22	意識改革キャラバン	新行政推進室	諫早市	総務課他	2
8.23	公金支出情報公開システム操作説明会		長崎市	総務課	1
9.27	危険物取扱者保安講習		長崎市	病害虫科	1
10.22	エコオフィスプラン説明会		諫早市	総務課	1
10.29	法の日シンポジウム		長崎市	場長	1

4) 総務関係会議等(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
11.1 11.27	鳥インフルエンザ発生時対応机上演習 予算ヒアリング	食育・安全推進室 財政課	長崎市 長崎市	研究企画室 総務課他	1 3
2.15 2.21	物品管理事務及び財務会計事務研修会 e - R a d 研究情報処理	科学技術振興課	長崎市 長崎市	総務課 研究企画室	1 1
3.17	物品取扱規則改正説明会		長崎市	総務課	1

5) 県外会議等(県内開催の全国会議等を含む)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
4.18 4.23 ~26	試験研究推進協議 ピワ系統適応性試験調査及び指定試験主任者会 議	九州農研センター 農林水産省	合志市 館山市 東京都	場長 育種科	1 1
5.17 5.20 ~21	九州病害虫防除推進協議会講話会 ピワ「長崎15号」輸送試験	協議会 果樹試験場	福岡市 東京都	病害虫科 生産技術科	1 1
6.12 ~15	知的財産権研修		東京都	育種科	1
6.20 ~22	九州沖縄試験研究推進会議果樹部会現地研究会 並びに耐候性ハウス調査	試験研究推進会 議果樹部会	名護市 糸満市	場長他 場長他	3 3
7.25 ~27	指定試験現地検討会	農林水産省	名護市	育種科	1
7.27	新土壌肥料管理技術打合せ	九州農研センター	合志市	生産技術科	1
8.21 ~22	九州病害虫防除推進協議会研修会	防除協議会	筑紫野市	病害虫科	2
8.21 ~22	園芸学会九州支部評議委員会、総会	園芸学会	鹿児島市	場長	1
8.24	常緑果樹系統適応性試験成績検討会	果樹研究所	諫早市	育種・生産	5
8.28	九州農業研究並びに園芸学会九州支部発表会	研究会、学会	鹿児島市	生産・育種	2
8.28	種苗法改正説明会	九州農政局	熊本市	育種科	1
8.29 ~30	九州沖縄農林水産業研究成果発表会	九州農研センター	鹿児島市	生産技術科	1

5) 県外会議等(県内開催の全国会議等を含む)(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
9.4 ~ 12.6	依頼研究員研修	果樹試験場	つくば市	病害虫科	1
9.5 ~ 6	日本植物防疫協会シンポジウム	日本植物防疫協会	東京都	病害虫科	1
9.28 ~ 10.1	園芸学会秋季大会	園芸学会	高松市	生産・育種	3
10.1 ~ 2	細菌病懇話会	植物病理学会	つくば市	病害虫科	1
10.3 ~ 4	土壌肥料研究会	九州農研センター	別府市	生産技術科	1
10.4	佐賀大学との打合せ	果樹試験場	佐賀市	育種科	1
10.8 ~ 9	気候温暖化会議	果樹研究所	つくば市	生産技術科	1
10.8 ~ 11.9	バイオテクノロジー研修	果樹試験場	つくば市	育種科	1
10.21 ~ 28	カンキツ類の海外探索調査	果樹試験場	韓国	育種科	1
10.21 ~ 11.3	内容成分分析研修	果樹試験場	静岡市	育種科	1
10.30	九州病害虫研究会	九州病害虫研究会	鹿児島市	病害虫科	1
11.1	植物病理学会九州支部研究会	植物病理学会	鹿児島市	病害虫科	1
11.1 ~ 2	九州地区植物防疫協議会	九州農政局	鹿児島市	病害虫科	1
11.8 ~ 9	九州病害虫防除推進協議会成績検討会	防除協議会	福岡市	病害虫科	2
11.13 ~ 14	常緑果樹除草剤・生育調節剤試験成績検討会	植物成長調節剤 協会	大阪市	生産技術科	1
11.13 ~ 15	農林科学技術交流訪中	長崎県	福州市	場長	1
11.19	研究普及連絡会議	九州農政局	熊本市	場長	1
11.29 ~ 30	九州地域温州ミカン技術確立会議	九州農政局	熊本市	生産技術科	1
11.28 ~ 29	指定試験事業中間評価事前検討会	果樹研究所	つくば市	育種科	1
12.2 ~ 5	日本植物防疫協会試験成績検討会	日本植物防疫協会	東京都	病害虫科	2

5) 県外会議等(県内開催の全国会議等を含む)(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
12.12 ~14	農林水産試験研究中堅職員研修会	農林水産省	つくば市	病害虫科	1
12.27	高機能発酵茶研究協議	科学技術振興課	福岡市	生産技術科	1
1.17 ~18	指定試験事業中間評価	農林水産省	東京都	育種科	1
1.21	落葉果樹除草剤、植物調節剤成績検討会	植物成長調節剤	つくば市	生産技術科	1
1.22	競争的資金応募説明会	九州農政局	熊本市	生産技術科	1
1.22 ~24	落葉果樹研究会	果樹研究所	つくば市	生産技術科	2
1.22 ~24	落葉果樹研究会(病害)	果樹研究所	東京都	病害虫科	1
1.22 ~24	落葉果樹研究会(虫害)	果樹研究所	東京都	病害虫科	1
1.24 ~25	常緑果樹研究会(病害)	果樹研究所	東京都	病害虫科	1
1.24 ~25	常緑果樹研究会(虫害)	果樹研究所	東京都	病害虫科	1
1.29	九州地区果樹試験場長会	事務局	諫早市	場長	1
1.28 ~29	九州沖縄農業試験研究推進会議果樹推進部会	果樹研究所	諫早市	場長他	8
1.30 ~31	九州病害虫研究会	病害虫研究会	熊本市	病害虫科	3
1.31	九州病害虫研究会役員会、総会	病害虫研究会	熊本市	研究企画室	1
1.31 ~2.1	九州沖縄試験研究推進会議病害虫推進部会	九州農研センター	合志市	病害虫科	3
2.3 ~5	常緑果樹研究会(栽培・土壌肥料・品種)	果樹研究所	静岡市	生産・育種	4
2.5	九州沖縄農業試験研究推進会議	九州農研センター	合志市	場長	1
2.6 ~7	農業資材審議会種苗分科会	農林水産省	東京都	育種科	1
2.12	九州病害虫防除推進協議会試験設計会議	協議会	福岡市	病害虫科	2
2.12 ~14	果樹試験研究推進会議	果樹研究所	つくば市	育種科	1
2.20	病害虫防除研修会(講師)	佐賀県農業技術 防除センター	佐賀市	病害虫科	1
3.5 ~7	生研センター研究報告会、農機開発改良試験研究打合せ会議	生研センター	さいたま市	生産技術科	1
3.27 ~29	園芸学会春季大会	園芸学会	厚木市	育種科	1

6) 海外会議等

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
10.21 ~28	日韓在来カンキツ類の海外探索調査	果樹試験場	済州道	育種科	1
11.13 ~15	農林科学技術交流訪中	長崎県	福州市	場長	1

7) その他機関との交流

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
6.26	農林業試験研究機関退職者協議会総会	協議会	諫早市	場長	1
7.18	諫早湾干拓調整池水質改善検討会議	水環境対策課	長崎市	病害虫科	1
10.29	長崎出島インキュベーター開所式	中小企業機構	長崎市	研究企画室	1
12.1	長崎総合科学大学公開講演会	長崎総合科学大学	長崎市	生産技術科	1
1.11	産学官連携推進機構講演会	機構事務局	長崎市	場長他	2
1.25	セラミックフェア	窯業技術センター	波佐見町	場長他	3
2.8	環境保健研究センター研究成果発表会	環境研センター	長崎市	場長	1

8) 農林3試験場長会

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
5.1	農林3試験場長会	農林3試験場長	諫早市	場長他	2
6.12	農林3試験場長会	農林3試験場長	諫早市	場長他	2
9.27	農林3試験場長会	農林3試験場長	諫早市	場長他	2
10.26	農林3試験場長会	農林3試験場長	諫早市	場長他	2
1.7	農林3試験場長会	農林3試験場長	諫早市	場長他	2

9) 場内開催会議

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	出席 者数
4.12	新たな果樹対策説明会	農産園芸課	果樹試験場	生産技術科	65
4.16	落葉果樹研修会	JA全農長崎、果研	果樹試験場	生産技術科	50
4.23	ビワ15号打合せ	果樹試験場	果樹試験場	育種科	5
5.29	ビワ15号特性検討会	果樹試験場	果樹試験場	育種科	40
6.13	温州ミカン振興打合せ	農産園芸課	果樹試験場	生産技術科	3

9) 場内開催会議(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	出席者数
6.26	させば温州打合せ	果樹試験場	果樹試験場	育種科	7
6.27	モモ、スモモ栽培技術研修会	JA全農長崎、果研	果樹試験場	生産技術科	30
7.3	JA県央ミカン部会産地交流会	JA県央	果樹試験場	生産・病虫他	110
7.5	させば温州の生産対策検討会	農産園芸課	果樹試験場	生産・育種他	15
7.23	品種研究会ピワ分科会	果樹試験場	果樹試験場	育種科	70
7.24	長崎ミカンブランド確立対策検討会	JA全農長崎、果研	果樹試験場	生産他	100
9.20	極早生温州出荷目揃会、優良系統検討会	JA全農長崎	果樹試験場	生産他	40
10.10	済州島との共同調査打合せ	果樹試験場	果樹試験場	育種科	10
10.12	農林水産省研究事業応募打合せ	果樹試験場	果樹試験場	生産技術科	15
10.18	ピワ15号命名登録打合せ	農産園芸課	果樹試験場	生産・育種他	8
10.31	ハウスピワリーダー研修会	果樹研究会	果樹試験場	生産・病虫	30
11.6	農業技術協議会(病害虫・植物調節剤部門)	農業経営課	果樹試験場	病虫・生産	30
11.13	ピワ着房調査法研修会	農業共済連合会	果樹試験場	生産技術科	20
12.12	させば温州実生果実特性検討会	果樹試験場	果樹試験場	育種科	10
12.13	果技協長崎ブロック落葉果樹部会剪定研修会	果技協	果樹試験場	生産技術科	19
12.14	ピワ茶の栽培・加工に関する検討会	総合農林試験場	果樹試験場	生産技術科	8
12.25	落葉果樹部会生産対策会議並びに剪定研修会	果樹研究会	果樹試験場	生産技術科	25
2.13	展示圃成績検討会	農産園芸課	果樹試験場	生産・育種	20
2.13	優良系統事業検討会	農産園芸課	果樹試験場	育種科	15
2.26	果樹品種研究会	果樹試験場	果樹試験場	育種科他	96
2.28 ~29	場内成績検討会	果樹試験場	果樹試験場	研究企画室	25
3.14	試験研究推進部門別検討会	果樹試験場	果樹試験場	研究企画室	32
3.18	マルチ現地実証・分光スライス計水管理システム打合せ	農産園芸課	果樹試験場	生産技術科	6
3.25	研修報告会	果樹試験場	果樹試験場	研究企画室	19

10) 果樹試験場主催会議および打合せ等

月日	内 容	場 所	担当科等	出席者数
4.23	ピワ15号打合せ	果樹試験場	育種科	5
6.19	研究事業評価内部検討会打合せ	長崎市	研究企画室	5
6.26	させば温州打合せ	果樹試験場	育種科	7
7.2	研究事業評価内部検討会(連携プロジェクト)	長崎市	場長他	21



10) 果樹試験場主催会議および打合せ等(つづき)

月日	内 容	場 所	担当科等	出席者数
7.3	温州みかん栽培に関する試験研究地区別報告会	大村市	生産技術科	110
7.11	研究事業評価内部検討会	長崎市	場長他	15
7.20	温州みかん栽培に関する試験研究地区別報告会	大村市	生産技術科	50
7.23	品種研究会ピワ分科会	果樹試験場	長 育種科	70
8.29	ピワ病害虫に関する試験研究地区別報告会	崎市	病害虫科	50
10.5	ピワ病害虫に関する試験研究地区別報告会	長崎市	病害虫科	106
10.10	済州島との共同調査打合せ	果樹試験場	育種科	10
10.12	農林水産省研究事業応募打合せ	果樹試験場	生産技術科	15
12.12	させば温州実生果実特性検討会	果樹試験場	育種科	10
2.26	果樹品種研究会	果樹試験場	育種科他	96
2.28	果樹試験場成績検討会	果樹試験場	研究企画室	25
~29				
3.11	果樹新技術研究会	果樹試験場	生産技術科	15
3.14	試験研究推進部門別検討会	果樹試験場	研究企画室	32
3.25	研修報告会	果樹試験場	研究企画室	19

11) 場外調査、試験、打合せ等

月日	内 容	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
4.2	ピワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
4.3	ピワ現地試験確認調査	南島原市	育種科	1
4.6	ピワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2
4.6	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
4.11	ピワ品種打合せ	長崎市	場長	1
4.12	ピワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
4.16	ピワ現地試験確認調査	長崎市	育種他	2
4.17	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
4.17	ピワ収穫調査	長崎市	病害虫科	2
4.18	ピワ根量調査	長崎市	生産技術科	1
4.19	カンキツ現地試験打合せ	佐世保市	育種科	1
4.23	ピワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
4.24	ピワ「長崎15号」輸送試験打合せ	長崎市	生産技術科	1
4.27	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
4.27	ピワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
5.2	ピワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
5.7	ピワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
5.9	新資材・新栽培法現地調査	南島原市	生産技術科	1
5.11	ピワ根量調査	長崎市	生産技術科	1

11) 場外調査、試験、打合せ等(つづき)

月日	内 容	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
5.11	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
5.14	試験打合せ	長崎市	病害虫科	1
5.14	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
5.16	ビワ現地系適調査	長崎市	育種科	2
5.16	ビワ「長崎15号」輸送試験	長崎市	生産技術科	1
5.16	ビワ「長崎15号」現地試験調査	長崎市	生産技術科	1
5.17	高機能発酵茶実証圃調査	諫早市	生産技術科	1
5.17	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
5.21	ビワ収穫調査	長崎市	病害虫科	1
5.22	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
5.22	農作業ロボット研究打合せ	長崎市	生産他	2
5.28	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
5.29	果実加工食品製造調査	島原市	生産他	2
5.29	カメムシ調査	諫早市	病害虫科	1
5.30	カメムシ調査	佐世保市	病害虫科	2
6.1	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
6.5	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
6.5	ヒリュウ台試験調査	南島原市	生産技術科	2
6.6	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
6.11	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
6.11	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
6.14	せとか調査	西海市	生産技術科	1
6.15	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
6.20	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
6.21	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2
6.21	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
6.26	ハウスミカン障害調査	諫早市	生産技術科	1
6.26	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
6.29	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
7.2	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
7.2	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
7.4	せとか現地試験調査	西海市	生産技術科	1
7.10	系適現地調査	長崎市	育種科	1
7.11	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
7.12	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
7.13	高機能発酵茶実証圃調査	諫早市	生産技術科	2
7.20	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
7.23	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
7.24	高機能発酵茶実証圃調査	諫早市	生産技術科	3
7.25	ヒリュウ台試験調査	南島原市	生産技術科	3
7.27	高機能発酵茶実証圃調査	諫早市	生産技術科	2

11) 場外調査、試験、打合せ等(つづき)

月日	内 容	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
8.1	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
8.3	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
8.8	高機能発酵茶実証圃調査	諫早市	生産技術科	2
8.9	高度化事業打合せ	南島原市	生産技術科	1
8.10	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2
8.10	展示圃確認調査	長与町	育種科	1
8.10	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
8.20	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
8.23	現地試験確認調査	長崎市	育種科	1
8.23	ゆうこう調査	長崎市	育種科	1
8.24	ヒリュウ台試験調査	南島原市	生産技術科	3
8.24	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2
8.29	高機能性茶葉実証圃調査	諫早市	生産技術科	2
8.30	ビワ「長崎15号」打合せ	長崎市	育種他	3
8.31	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
9.3	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
9.3	ヒリュウ台温州調査	諫早市	生産技術科	1
9.5	カンキツ育種状況調査	南島原市	育種科	3
9.10	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
9.12	ミカンハダ二天敵調査	長崎市	病害虫科	1
9.13	高機能発酵茶実証圃調査	諫早市	生産技術科	2
9.19	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
9.21	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2
9.21	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
9.25	高機能発酵茶実証圃調査	長崎市	生産技術科	2
9.26	ヒリュウ台試験調査	南島原市	生産技術科	3
10.1	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2
10.1	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
10.4	させぼ温州調査	佐世保市	生産技術科	1
10.9	高機能性発酵茶打合せ	諫早市	生産技術科	1
10.11	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2
10.11	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
10.11	対馬在来カンキツ調査	対馬市	育種科	1
~ 13				
10.12	温州ミカンマルドリ栽培調査	長与町	生産技術科	1
10.22	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2
10.22	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
10.25	ヒリュウ台試験調査	南島原市	生産技術科	2
10.31	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
10.31	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2

11) 場外調査、試験、打合せ等(つづき)

月日	内 容	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
11.12	ビワ防除試験	長崎市	病害虫科	1
11.12	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	2
11.12	カメムシ調査	諫早・佐世保市	病害虫科	2
11.13	発酵魚粉施用試験調査	西海市	生産技術科	1
11.21	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
11.26	ビワ防除試験	長崎市	病害虫科	1
11.27	ヒリュウ台試験調査	南島原市	生産技術科	2
11.27	ビワ「長崎15号」現地試験苗木配布	長崎市	育種科	1
11.30	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
12.3	中晩柑試験打合せ	長崎市	生産技術科	1
12.4	ヒリュウ台試験調査	南島原市	生産技術科	2
12.6	ミカン選果場、ゆうこう調査	佐世保・長崎市	生産技術科	2
12.6	ゆうこう現地調査	長崎市	育種科	1
12.10	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
12.10	ビワ防除試験	長崎市	病害虫科	1
12.11	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
12.12	不知火果実障害調査	島原市	生産技術科	1
12.20	カンキツ系適現地試験調査	佐世保・長崎市	生産技術科	1
12.20	ビワ「長崎15号」打合せ	長崎市	育種科	1
12.20	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
12.25	ビワ防除試験	長崎市	病害虫科	1
12.26	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
12.28	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
1.8	ビワ防除試験	長崎市	病害虫科	1
1.9	中晩柑系適果実調査	川棚町	生産技術科	1
1.9	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
1.16	ビワ「長崎15号」品種名開発打合せ	長崎市	育種他	2
1.18	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
1.18	せとか現地試験調査	西海市	生産技術科	1
1.21	系適試験果実調査	長与・佐世保市	生産技術科	1
1.22	DNAマーカーのSTS化実験	諫早市	育種科	1
1.29	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
2.6	果樹省力化打合せ	雲仙市	生産他	2
2.7	マンゴー栽培状況調査	諫早市	生産他	2
2.8	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
2.13	中晩生カンキツ打合せ	長崎市	生産他	2
2.18	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
2.27	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
3.7	ビワ調査打合せ	長崎市	病害虫科	1

11) 場外調査、試験、打合せ等(つづき)

月日	内 容	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
3.7	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
3.11	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
3.13	高機能発酵茶現地実証圃調査	諫早市	生産技術科	1
3.17	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
3.18	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
3.19	ビワ茶作物残留試験	長崎市	病害虫科	1
3.19	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
3.21	ビワ茶作物残留試験	長崎市	病害虫科	1
3.21	高機能発酵茶現地打合せ	長崎市	生産技術科	1
3.21	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
3.25	新営農現地調査	諫早市	生産技術科	1
3.27	ビワサンホーゼ調査	長崎市	病害虫科	1
3.27	カンキツ現地系適試験打合せ	佐世保市	育種科	1
3.28	ビワ茶作物残留試験	長崎市	病害虫科	2

## ・技術指導

### 1. 来場者数

#### 1) 視察研修、会議等

	県内	県外	外国	総計
学生・生徒	342(4)	6(1)	0(0)	348(5)
一般	1305(75)	244(24)	18(2)	1567(101)
計	1647(79)	250(25)	18(2)	1915(106)

( )は件数

#### 2) 果樹試験場一般公開来場者

	県内	県外	外国	総計
学生・生徒	506	0	0	506
一般	724	9	0	724
計	1230	9	0	1230

平成19年11月10日開催

### 2. 問い合わせ・相談対応件数

科名	問い合わせ ・相談対応方法		問い合わせ・相談者				相談内容			
			農家	普及センター	農協	その他	栽培	品種	病害虫	その他
生産技術科	電話	133	56	13	10	54	99	14	10	10
	来訪	9	7	0	1	1	7	0	1	1
育種科	電話	35	4	7	4	20	3	23	1	8
	来訪	13	6	0	0	7	2	9	1	3
病害虫科	電話	98	39	27	17	15	0	0	98	0
	来訪	51	21	15	6	9	0	0	51	0
計	電話	266	99	47	31	85	102	37	109	18
	来訪	73	34	15	7	17	9	9	53	4
	計	339	133	62	38	102	111	46	162	22

3. 受託研修等

1) 農業指導者等実技研修（農業大学経由・農協等）および一般研修

受入科名	研修者氏名	依頼機関名	研修項目	研修期間
なし				

2) 農業改良普及指導員研修

受入科名	研修者氏名	普及センター	研修部門	研修名	研修期間
生産技術科 育種科 病害虫科	種川 淳子	県北	果樹全般	専門転向者研修	平成19年6月6日～14日

3) 大学生研修

受入科名	研修者氏名	所属	研修項目	研修期間
生産技術科 育種科 病害虫科	森 浩紀	長崎県立農業大学校	果樹専攻プロジェクト	平成19年4月 ～20年3月

4) 海外研修

受入科名	研修者氏名	所属	研修項目	研修期間
なし				

5) 体験学習

受入科名	研修者	依頼機関名	研修項目	研修期間
生産技術科 育種科 病害虫科	大村市立 萱瀬中学校 1年生3名	大村市立萱瀬中学校	職場体験学習 ・モモ・ブルーベリーの収穫 ・ミカン摘果 ・苗木かん水 など	平成19年 7月5日
生産技術科 育種科 病害虫科	長崎県立 ろう学校 専攻科2年 1名 専攻科1年 1名	県立ろう学校	職場体験学習 ・ミカン、カキの収穫 ・ブドウの整枝 ・カメムシ飼育 ・ビワ植え付け など	平成19年 10月23日 ～24日
育種科 病害虫科	橘香館高校 1年生2名	橘香館高等学校	職場体験学習 ・培地作成・滅菌作業 ・病原菌接種 ・DNA抽出実験	平成20年 3月7日



4. 視察研修対応

1) 生産者組織等

月日	研修組織名	地区名	員数	研修内容	担当
4.2	果樹グループ	西海	2	ミカン栽培管理について	生産技術科
4.4	果樹グループ	西海	3	ミカン栽培管理について	生産技術科
4.12	ハウスモモ研究会	西有家	11	ハウスモモの栽培管理について	生産技術科
4.26	中山間地域振興会	千々	35	ビワ新品種の特性及び栽培のポイント	生産・育種
4.26	JA伊万里	佐賀県	12	モモ、スモモの安定生産について	生産技術科
4.27	大雲仙ミカン部会	南有馬	10	ヒリュウ台高糖度系みかん栽培について	生産技術科
6.12	外海ブドウ部会	外海	12	ブドウの栽培管理について	生産技術科
6.13	西時津ブドウ出荷組合	西時津	25	ブドウの栽培管理について	生産技術科
6.15	伊切木ミカン部会	野川内	6	ミカン栽培管理について	生産技術科
6.28	果樹グループ	長与	6	スモモ、ブドウ、させば温州栽培について	生産技術科
6.28	喜々津ブドウ部会	喜々津	9	ブドウの栽培管理について	生産技術科
7.11	本川内振興協議会	長与	17	させば温州の生産対策について	生産技術科
7.20	伊切木女性部	舟津	50	させば温州、ヒリュウ台青島温州の栽培管理	生産技術科
7.31	ミカン研究会	諫早	14	ミカンの栽培管理について	生産技術科
8.6	ことのうみカンキツ部会	長与	20	温州ミカン、中晩柑の品種特性について	育種科
8.8	長与中晩柑部会	長与	18	優良中晩柑の品種特性、栽培管理について	生産技術科
8.28	川棚ブントウ研究会	川棚	6	ブントウの栽培管理について	生産技術科
8.29	大西海ミカン部会	黒口	19	カンキツの高品質栽培方法について	生産技術科
9.5	瑞穂ミカン部会	岡	16	させば温州の高品質栽培技術について	生産技術科
9.5	JAさが佐城ミカン部会	佐賀県	29	高品質ミカン生産技術について	生産技術科
9.5	JA島原雲仙ビワ部会	南有馬	17	露地、ハウスビワの生産対策について	生産技術科
9.6	JA山口大島	山口県	22	ミカンの高品質生産技術について	生産技術科
9.12	西海ミカン部会女性	西海	28	優良品種と高品質栽培方法について	生産技術科
9.12	琴海カンキツ部会	大子	14	ミカンの高品質生産技術について	生産技術科
9.19	JA県央ミカン部会川棚	川棚	44	させば温州、ヒリュウ台青島の栽培管理	生産技術科
10.16	JA伊万里ナシ部会	佐賀県	80	ナシの高品質安定生産について	生産技術科
10.18	三浦ミカン部会	三浦	2	温州ミカンの優良品種について	生産技術科
10.22	川原露地ビワ部会	川原	50	ビワ15号について	生産・育種
11.1	五島ビワ部会	五島	9	ハウスビワの高収量生産技術について	生産技術科
11.2	時津カンキツ部会	時津	10	温州ミカン、中晩柑の収穫後の管理	生産技術科
11.7	茂木ビワ組合	長崎	23	ビワの生産管理、新品種について	育種科
11.12	松浦ミカン部会	志佐調川	19	させば温州の管理、有望品種について	生産技術科
11.13	果樹青年農業者	諫早	10	温州ミカンの優良品種について	育種科
11.14	ビワ15号研究会	茂木	30	ビワ15号の苗管理について	生産・育種
11.19	JA長崎西彼三和	三和	18	ビワ15号、ビワの高品質生産技術	生産・育種
11.26	松浦ミカン部会	上志佐	17	させば温州の管理、有望品種について	生産技術科
11.27	苗木生産組合	大村	10	ミカン・ビワ品種の生育状況	育種科
1.30	瀬川ミカン部会	西海	18	温州ミカンの次年度対策、優良中晩柑	生産技術科

1) 生産者組織等(つづき)

月日	研修組織名	地区名	員数	研修内容	担当
2.14	大分県南柑橘研究会	大分県	18	ビワの大玉生産技術について	生産技術科
2.18	玉名直売所グループ	熊本県	15	カンキツ、ビワの栽培管理について	生産技術科
2.19	津久井浜ミカン狩り組合	神奈川県	14	温州ミカンの栽培技術について	生産技術科
2.21	千々石ミカン部会	千々石	9	ミカンの隔年結果対策、中晩柑品質向上	生産技術科
2.25	果樹グループ	長崎	4	果樹の栽培技術について	生産技術科
3.7	JA県央ミカン部会	日泊	12	20年産温州ミカン生産対策について	生産技術科
3.17	JA県央ミカン部会女性	諫早	57	させば温州の高品質安定生産について	生産・病虫
3.21	JA長崎西彼青年部	時津	4	果樹の新技術について	生産技術科
3.21	果樹グループ	西海	2	果樹の栽培管理について	生産技術科
3.25	安下庄生産組合	山口県	7	ミカン高品質果実生産対策について	生産技術科
3.27	JA大分ビワ部会	大分県	9	ビワ新品種の特性について	生産・育種

2) 指導者等

月日	研修組織名	地区名	員数	研修内容	担当
8.29	北松農業高等学校	松浦	2	ビワの品種、ハウスビワの栽培技術	育種科
8.30	長崎市農業センター	長崎	42	試験場の取り組み圃場の視察研修	生産技術科
10.16	農林主管部課長会	県下	24	試験研究の概要、圃場見学	各科
11.15	東備農業普及指導センター	岡山県	1	温州ミカンのマルチ栽培について	生産技術科
12.19	順天市	韓国	8	ナシの栽培技術について	生産技術科

3) 流通業者

月日	研修組織名	地区名	員数	研修内容	担当
8.24	日本園芸農業協同組合連合会	東京都	1	ミカン等の生産状況について	生産技術科

4) 学生、生徒

月日	研修組織名	地区名	員数	研修内容	担当
4.11	長崎県立農業大学校	諫早	5	果樹試験場の試験研究について	場長他
9.3	長野県農業大学校	長野県	6	落葉果樹の栽培と試験研究について	生産技術科
11.2	大村市立富の原小学校	大村	144	社会科見学	各科
11.8	長崎県立佐世保北中学校	佐世保	43	研究所訪問	各科
11.5	大村市立萱瀬小学校	大村	21	社会科見学	各科
11.15	大村市立竹松小学校	大村	146	社会科見学	各科

5) 研究機関

月日	研修組織名	地区名	員数	研修内容	担当
8.23	千葉農総研	千葉県	1	カンキツ、ビワの育種状況	育種科
10.9	三重大学	三重県	1	果樹研究の取り組み	生産技術科
10.10	済州道柑橘研究所	韓国	3	在来カンキツ共同調査	育種科
10.12	果樹研究所(口之津)	長崎県	2	育種圃場見学	育種科
1.11	東新大学校	韓国	10	ビワの栽培技術について	育種科他
3.4	福岡県農業総合試験場	福岡県	1	ビワの育種技術	育種科
3.10	果樹研究所(興津)	静岡県	1	育種状況調査	育種科
3.11	福岡県農業総合試験場	福岡県	1	温州ミカンの地固め栽培法	生産技術科
3.19	上場営農センター	佐賀県	2	カンキツ研究	育種科

6) 海外

月日	研修組織名	地区名	員数	研修内容	担当
10.10	済州道柑橘研究所	韓国	3	在来カンキツ共同調査	育種科
12.19	順天市	韓国	8	ナシの栽培技術について	生産技術科
1.11	東新大学校	韓国	10	ビワの栽培技術について	育種科他

5. 技術支援のための会議出席

1) 生産者団体等

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
4.5	ビワ「麗月」現地検討会	J A 長崎西彼	西海市	生産・育種	2
4.6	農業共済ナシ開花調査	農業共済連	県下	場長他	3
4.16	落葉果樹研修会	JA全農長崎、果研	果樹試験場	生産技術科	2
4.25	果樹研究会役員会	果樹研究会	長崎市	育種科	1
4.27	ビワ出荷協議会	JA全農長崎	長崎市	場長	1
4.27	ハウスミカン出荷協議会	JA全農長崎	長崎市	生産技術科	1
4.27	露地ビワ出荷協議会	JA全農長崎	長崎市	生産技術科	1
5.1	カンキツ着花、生育状況調査	JA全農長崎	西海市	生産技術科	1
5.2	カンキツ着花、生育状況調査	JA全農長崎	南島原市	生産技術科	1
5.8	農業共済ミカン開花調査	農業共済連	県下	生産技術科	1
5.8	病害虫防除合理化協議会幹事会・総会	協議会	長崎市	病害虫科	1
5.15	モモ出荷協議会	JA全農長崎	長崎市	生産技術科	1
5.23	「長崎の果樹」誌編集委員会	JA全農長崎	長崎市	生産技術科	1
6.4	農業共済ミカン損害評価会	農業共済連	諫早市	場長他	3
6.8	果樹技術者協議会総会	果樹技術者協議会	諫早市	場長	1
6.8	果樹技術者協議会研修会	果樹技術者協議会	諫早市	場長他	9
6.18	長崎県果樹研究会総会、研修会	果樹研究会	長崎市	場長	1
6.20	ビワ「長崎15号」現地検討会	J A 長崎西彼	長崎市	生産・育種	2
6.27	モモ、スモモ栽培技術研修会	JA全農長崎、果研	果樹試験場	生産技術科	2
7.2	若手生産者・市場意見交換会	JA全農長崎	諫早市	生産技術科	1
7.3	JA県央ミカン部会産地交流会	JA県央	果樹試験場	生産・病虫他	3
7.6	果樹苗木生産組合現地研修会	苗木生産組合	諫早市	育種科	2
7.6	営農指導員連絡協議会	協議会	諫早市	場長	1
7.18	夏果実出荷協議会	JA全農長崎	諫早市	生産技術科	1
7.19	農業共済ミカン損害評価会	農業共済連	諫早市	場長他	2
7.24	長崎ミカンブランド確立対策検討会	JA全農長崎、果研	果樹試験場	生産他	5
8.2	ビワ生産販売反省会	JA全農長崎	長崎市	育種科	2
8.18	雲仙ブドウ品評会	協議会	島原市	生産技術科	1
8.22	農業共済ナシ収穫調査	農業共済連	県下	場長他	2
9.4	マルチ確認調査	JA全農長崎	西海市	生産技術科	1
9.13	温州ミカン出荷協議会	JA全農長崎	長崎市	生産他	2
9.14	長崎ビワ産地復興生産者大会	協議会	長崎市	場長他	4
9.20	極早生温州出荷目揃会、優良系統検討会	JA全農長崎	果樹試験場	生産他	3
10.9	農業共済ビワ損害評価会	農業共済連	諫早市	場長他	3
10.15	農業共済ミカン収穫調査	農業共済連	県下	場長他	3

1) 生産者団体等(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
10.19	ビワ「長崎15号」現地検討会	J A 長崎西彼	長崎市	生産・育種	2
10.30	「長崎の果樹」誌編集委員会	JA全農長崎	長崎市	生産技術科	1
10.31	ハウスビワリーダー研修会	果樹研究会	果樹試験場	生産・病虫	3
11.12	ハウスビワ現地検討会	J A 壱岐市	壱岐市	生産技術科	1
11.12	ビワ「長崎15号」苗木見回り調査	苗木生産組合	諫早市	育種科	2
11.13	ビワ着房調査法研修会	農業共済連合会	果樹試験場	生産技術科	1
11.16	させば温州検討会	JA全農長崎	諫早市	生産技術科	1
11.16	実り恵みの感謝祭	JA全農長崎	長崎市	各科	2
11.17	実り恵みの感謝祭	JA全農長崎	長崎市	各科	2
11.18	実り恵みの感謝祭	JA全農長崎	長崎市	各科	2
11.19	させば温州収穫出荷日揃会	JA全農長崎	諫早市	生産技術科	1
11.27	果樹苗木生産組合現地研修会	生産組合	諫早市	育種科	1
12.4	果樹生産会議	JA全農長崎	諫早市	生産技術科	1
12.7	出島の華品評会	JA全農長崎	長崎市	場長他	2
12.13	果技協長崎ブロック落葉果樹部会剪定研修会	果技協	果樹試験場	生産技術科	2
12.21	青年農業者との意見交換会	JA全農長崎	長崎市	場長	1
12.25	落葉果樹部会生産対策会議並びに剪定研修会	果樹研究会	果樹試験場	生産技術科	2
1.23	農業共済ナシ損害評価会	農業共済連	諫早市	場長他	2
1.30	県央地区農業活性化大会	活性化大会事務局	諫早市	場長	1
2.1	果研カンキツ部会長会議	果樹研究会	長崎市	生産技術科	1
2.18	ハウスビワ出荷協議会	JA全農長崎	長崎市	育種科	1
2.27	ビワ「長崎15号」現地試験説明会	J A 長崎西彼	長崎市	育種科	1

2) 県農林部行政、普及関係

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
4.12	新たな果樹対策説明会	農産園芸課	果樹試験場	生産技術科	3
4.13	防除基準作成システム打合せ	農業経営課	諫早市	病害虫科	1
4.17	果樹生産振興業務打合せ	農産園芸課	長崎市	場長他	5
4.18	マイナー作物農薬登録打合せ	農業経営課	諫早市	病害虫科	1
4.18	農薬飛散低減対策打合せ	農業経営課	諫早市	病害虫科	1
4.23	ながさき農林業大賞運営委員会	農業経営課	長崎市	場長	1
4.23	農産園芸振興対策協議会全体会議	農産園芸課	長崎市	各科	3
4.24	植物防疫事業推進会議	農業経営課	諫早市	病害虫科	2
4.24	農産園芸振興対策協議会果樹分科会	農産園芸課	長崎市	各科	7
4.26	農林部関係地方機関長会議他	農政課	長崎市	場長	1

2) 県農林部行政、普及関係(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
5.14	農業大学校あり方検討庁内検討会議	農業経営課	長崎市	研究企画室	1
5.25	農業経営課事業説明会	農業経営課	長崎市	病害虫科	2
5.28	技術普及連絡会議開催打合せ	農産園芸課	諫早市	研究企画室	1
5.30	農林業情報システムリニューアル検討会	農業経営課	長崎市	生産技術科	1
5.31	農業大学校あり方検討委員会	農業経営課	長崎市	研究企画室	1
6.4	バイオテクノロジー推進連絡協議会	農産園芸課	諫早市	育種科	1
6.6	温州ミカンマルチドリップ栽培検討会	長崎農改センター	長与町	生産・病虫	2
6.6	農薬安全対策協議会	農業経営課	長崎市	病害虫科	1
6.13	温州ミカン振興打合せ	農産園芸課	果樹試験場	生産技術科	1
6.15	農林業異常気象対策連絡会議	農政課	長崎市	場長	1
7.3	農業大学校あり方検討委員会	農業経営課	長崎市	場長	1
7.3	農林業総合情報システム改修打合せ	農業経営課	長崎市	病害虫科	1
7.5	させば温州の生産対策検討会	農産園芸課	果樹試験場	生産・育種他	3
7.9	農林業技術普及連絡会議	農産園芸課	諫早市	場長他	3
7.10	果樹集団産地市町村協議会研修会	農産園芸課	長崎市	生産・育種	2
7.19	農業大学校あり方検討庁内検討会議	農業経営課	長崎市	研究企画室	1
7.30	果樹関係展示圃現地検討会	農産園芸課	南島原市	生産技術科	1
8.2	果樹関係展示圃現地検討会	農産園芸課	佐世保市	生産技術科	1
8.2	農業大学校あり方検討委員会	農業経営課	長崎市	研究企画室	1
8.7	防除基準システム改修打合せ	農業経営課	長崎市	病害虫科	1
8.8	農林業大賞予備審査会	農業経営課	長崎市	生産技術科	1
8.9	雑草防除基準打合せ	農業経営課	諫早市	生産技術科	1
8.9	防除基準改定打合せ	農業経営課	長崎市	病害虫科	1
8.10	GAP環境保全型農業検討会	農業経営課	諫早市	病害虫科	1
8.17	ミカン産地活性化準備会	農産園芸課	長崎市	生産技術科	1
8.27	堆肥コンクール準備委員会	畜産課	諫早市	生産技術科	1
8.29	農林業大賞審査会	農業経営課	長崎市	場長	1
8.29	ハウスピワ定例会	長崎農改センター	長崎市	病害虫科	1
8.31	温州ミカンマルチドリ栽培中間検討会	長崎農改センター	長与町	生産技術科	1
9.4	農林業大賞運営委員会	農業経営課	長崎市	場長	1
9.6	農林業情報システム打合せ	農業経営課	諫早市	病害虫科	1
9.10	果樹関係展示圃調査	農産園芸課	諫早市	生産技術科	1
9.11	堆肥コンクール準備委員会	畜産課	諫早市	生産技術科	1
9.13	カンキツ優良系統調査	農産園芸課	西海市	育種科	1
9.20	カンキツ優良系統調査	農産園芸課	長与・西海	育種科	1
9.21	カンキツ優良系統調査	農産園芸課	諫早市	育種科	1
10.4	カンキツ優良系統調査	農産園芸課	佐世保市	育種科	1
10.10	農林部関係機関長会議	農政課	長崎市	場長	1

2) 県農林部行政、普及関係(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
10.15	カンキツ優良系統調査	農産園芸課	長崎市	育種科	1
10.16	カンキツ優良系統調査	農産園芸課	大村市	育種科	1
10.18	ピワ15号命名登録打合せ	農産園芸課	果樹試験場	生産・育種他	3
10.22	原油価格高騰対策検討会	農産園芸課	諫早市	生産技術科	1
10.29	カンキツ優良系統調査	農産園芸課	佐世保市	育種科	1
11.2	堆肥コンクール官能審査	畜産課	諫早市	生産技術科	1
11.7	ミカン産地再生準備会	農産園芸課	長崎市	生産技術科	1
11.14	ピワ着房調査	農産園芸課	長崎市	育種科	1
11.15	ピワ着房調査	農産園芸課	長崎市	生産技術科	1
11.17	農林業大賞表彰式	農業経営課	長崎市	場長	1
11.22	農薬安全対策協議会	農業経営課	長崎市	病害虫科	1
11.28	ピワ優良品種普及促進協議会	農産園芸課	長崎市	育種科	1
11.29	平成21年度植物防疫地区協議会打合せ	農業経営課	諫早・長崎市	病害虫他	2
11.29	カンキツ優良系統調査	農産園芸課	時津町	育種科	1
12.5	鳥インフルエンザ予防用務	畜産課	諫早市	各科	5
12.6	鳥インフルエンザ予防用務	畜産課	諫早市	各科	9
12.7	少雨対策会議	農政課	長崎市	場長	1
12.14	鳥インフルエンザ予防用務	畜産課	諫早市	各科	7
12.17	農林業技術連絡会議打合せ	農産園芸課	長崎市	育種科	1
12.19	農林業技術連絡会議	農産園芸課	長崎市	場長	1
12.20	ピワ「長崎15号」打合せ	農産園芸課	長崎市	育種科	1
12.20	堆肥コンクール開催検討委員会	畜産課	諫早市	生産技術科	1
12.21	農薬適正使用緊急対策会議	農業経営課	諫早市	病害虫科	1
1.8	防除基準情報システム検討会	農業経営課	諫早市	病害虫科	1
1.15	ピワ優良品種普及促進協議会	農産園芸課	長崎市	育種科	2
1.24	堆肥コンクール審査	畜産課	長崎市	場長	1
1.25	農業技術革新支援普及活動事業連携会議	県北農改センター	佐世保市	生産技術科	1
1.29	ピワ優良品種普及促進協議会	農産園芸課	長崎市	育種科	2
2.6	堆肥生産利用研修会	畜産課	諫早市	生産技術科	1
2.13	展示圃成績検討会	農産園芸課	果樹試験場	生産・育種	4
2.13	優良系統事業検討会	農産園芸課	果樹試験場	育種科	1
2.13	ながさき農林業情報システムリニューアル検討会	農業経営課	長崎市	育種科	1
2.15	園芸ビジョン21年ワーアップ企画推進検討会	農産園芸課	長崎市	生産技術科	1
2.15	バイオテクノロジー推進連絡協議会	農産園芸課	諫早市	育種科	3
2.21	温州ミカンマルチドリップ栽培検討会	長崎農改良センター	長与町	生産技術科	1
3.9	GAP推進協議会ワーキング会議	農業経営課	長崎市	病害虫科	1
3.9	環境保全型農業推進協議会	農業経営課	長崎市	病害虫科	1
3.13	園芸ビジョン果樹部会	農産園芸課	諫早市	育種科	1

2) 県農林部行政、普及関係(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
3.18	マルチ現地実証・分光ストロメータ管理システム打合せ	農産園芸課	果樹試験場	生産技術科	2

3) 農業大学校

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
4.10	農業大学校入学式	農業大学校	諫早市	場長	1
5.22	農業大学校講義	農業大学校	諫早市	病害虫科	1
5.29	農業大学校講義	農業大学校	諫早市	病害虫科	1
6.26	農業大学校講義	農業大学校	諫早市	生産技術科	1
7.3	農業大学校講義	農業大学校	諫早市	生産技術科	1
7.10	農業大学校講義	農業大学校	諫早市	生産技術科	1
6.19	農業大学校講義	農業大学校	諫早市	育種科	1
3.14	農業大学校卒業式	農業大学校	諫早市	場長	1

4) その他農業関係

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
4.20	施肥防除協会幹事会	施肥防除協会	長崎市	病害虫科	1
4.25	農地水環境保全向上対策担当者会議	農村整備課	長崎市	生産技術科	1
5.8	施肥防除協会総会	施肥防除協会	長崎市	次長	1
5.8	ゆうこう振興会議	長崎市	長崎市	育種科	1
6.26	農林業試験研究機関退職者協議会総会	協議会	諫早市	場長	1
7.18	諫早湾干拓調整池水質改善検討会議	水環境対策課	長崎市	病害虫科	1
8.17	施肥防除協会現地調査	施肥防除協会	諫早市	生産技術科	1
9.28	施肥防除協会展示圃検討会	施肥防除協会	諫早市	生産技術科	1
10.15	研究・普及連絡会議開催打合せ	九州農政局	長崎市	研究企画室	1
10.16	施肥防除協会研修会	施肥防除協会	諫早市	病害虫科	1
10.17	雑草防除展示圃成績検討会	施肥防除協会	諫早市	生産技術科	1
10.17	病害虫防除展示圃成績検討会	施肥防除協会	諫早市	病害虫科	2
10.30	ゆうこう振興会議	長崎市	長崎市	育種科	1
11.3	諫早農業高等学校100周年記念式典	諫早農業高等学校	諫早市	場長	1



4) その他農業関係(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
11.7	農工連携に係る要望問題取り扱い打合せ	産業振興財団	諫早市	研究企画室	1
12.13	肥料展示圃成績検討会	施肥防除協会	諫早市	生産技術科	1
1.11	東新大学との交流	果樹試験場	長崎市	育種科	1
1.18	施肥防除協会展示圃設置打合せ会議	施肥防除協会	長崎市	病害虫科	1
2.21	施肥防除協会展示圃設置打合せ会議	施肥防除協会	長崎市	病害虫科	1
2.21	ゆうこう加工検討会議	長崎市	長崎市	育種科	1
2.28	ゆうこう振興会議	長崎市	長崎市	育種科	1

## IV. 研究成果の発表

## 1. 刊行物等

## 1) 果樹試験場業務報告

発行月	誌名	判名・ページ数	発行部数
11月	平成18年度長崎県果樹試験場業務報告	A 4・p 49	3 0 0

## 2) 試験研究課題一覧

発行月	誌名	判名・ページ数	発行部数
4月	平成19年度長崎県果樹試験場試験研究課題一覧	A 4・p 24	1 5 0

## 3) 果樹試験場研究報告

発行月	誌名	判名・ページ数	発行部数
12月	長崎県果樹試験場研究報告第10号	A 4・p 51	2 2 0

## 4) 果樹試験場研究情報誌

発行月	誌名	判名・ページ数	発行部数
7月	かつらぎ通信 第7号	A 4・p 6	8 0 0
12月	かつらぎ通信 第8号	A 4・p 8	5 0 0

## 5) 九州沖縄農業研究成果情報 第22号(九州沖縄農業試験研究推進会議発行)

発行月	掲載された成果情報名	成果情報の分類	担当科
8月	中晩生カンキツ「せとか」および「麗紅」の袋かけによる果面傷害の軽減	生産現場において実用的に利用され得る技術等(技術・普及)	生産技術科
	ハウスミカンにおける物理的防除資材によるアザミウマ類の果実被害軽減	生産現場において実用的に利用され得る技術等(技術・普及)	病害虫科
	長崎県におけるニホンナシ「幸水」、「豊水」の開花期、成熟期および果実肥大の予測	今後の発展が見込まれる、有望な素材技術、プロトタイプ等(技術・参考)	生産技術科

## 6) ながさき普及技術情報 第25号 (長崎県農産園芸課発行)

発行月	掲載された成果情報名	成果情報の分類	担当科
6月	極早生温州「岩崎早生」の高品質果実生産のための水分ストレス誘導法	普及に移しうる成果	生産技術科
	ニホンナシ「幸水」および「豊水」の摘果指標と果実肥大の目安	普及に移しうる成果	生産技術科
	生産現場で利用できる極早生温州の簡易な樹体水分ストレス診断法	技術指導の参考となる成果	生産技術科
	「させば温州」の常温貯蔵における果実品質の変化	技術指導の参考となる成果	生産技術科
	新たに登録される「カンキツロ之津34号」の果実特性	技術指導の参考となる成果	生産技術科
	ニホンナシ「あきづき」の収穫適期	技術指導の参考となる成果	生産技術科
	ニホンナシの花芽切りによる摘らい・摘花、摘果作業の労力分散	技術指導の参考となる成果	生産技術科
	ニホンナシ「幸水」の溶媒受粉技術	技術指導の参考となる成果	生産技術科
	施設栽培モモの開花期の環状剥皮による果実肥大の促進	技術指導の参考となる成果	生産技術科
	施設栽培モモ「日川白鳳」の果実大きさの時期別目安	技術指導の参考となる成果	生産技術科
	ミカン、バレイショの炭化物及び燻焼液の性状と炭化物の施用効果	技術指導の参考となる成果	生産技術科
	ハウス天井部の早期被覆によるビワ果実腐敗の発生抑制	技術指導の参考となる成果	病害虫科

## 7) 学会誌等発表

発表者名	発表課題名	発表学会誌等名
林田誠剛	ビワ葉とチャ葉が出会った時何が起きたか	園芸学会雑誌76(別2)76-77
福田伸二・稗圃直史・寺上伸吾・山本俊哉・富永由紀子・根角博久	ビワの果肉色と連鎖したDNA マーカーの開発	園芸学研究6(別2)417

## 7) 学会誌等発表 (つづき)

発表者名	発表課題名	発表学会誌等名
稗圃直史・福田伸二・寺井理治・佐藤義彦	ビワ果実諸形質の遺伝	園芸学研究6(別2)483
野中圭介・高原利雄・今井篤・深町浩・松本亮司・國賀武・吉岡照高・三谷宣仁・稗圃直史	カンキツ新品種‘西南のひかり’	園芸学研究7(別1)42
今井篤・高原利雄・深町浩・野中圭介・松本亮司・吉岡照高・國賀武・三谷宣仁・稗圃直史	カンキツ新品種‘津之輝’	園芸学研究7(別1)43
田中実ら	ハウス栽培モモの果実肥大促進のための環状剥皮の方法	園芸学会九州支部研究集録(15)58
稗圃直史・福田伸二・寺井理治	近年育成あるいは海外から導入されたビワ品種におけるビワがんしゅ病抵抗性	園芸学会九州支部研究集録第15号59
深町浩・稗圃直史・阿部知子・今井篤・野中圭介・岩崎光徳・佐藤景子・高原利雄	重イオンビーム・ガンマ線照射によるカンキツ突然変異個体の作出	園芸学会九州支部研究集録(15)64
岸本英成・手柴真弓・近藤知弥・宮崎俊英・杉浦直幸・戸田世嗣・若月洋・本山宏・堀江宏彰	九州のカンキツ園におけるミヤコカブリダニの発生状況	日本ダニ学会誌16(2)129-137
菅康弘	ビワ果実腐敗に関与する菌類の感染時期(要旨)	日本植物病理学会誌74(1)27
柿崎昌志・寺本健	アカスジカスミカメの性フェロモン成分(要旨)	日本応用動物昆虫学会第52回大会講演要旨143
菅康弘・宮崎俊英	光反射マルチを利用した温州ミカンの減化学合成農薬防除体系の検討(要旨)	九州病害虫研究会報(53)126-127
宮崎俊英	ミカンサビダニ越冬量と翌年発生量の関係および防除対策(要旨)	九州病害虫研究会報(53)144
岸本英成・手柴真弓・近藤知弥・宮崎俊英・杉浦直幸・戸田世嗣・若月洋・本山宏・堀江宏彰	九州のカンキツにおけるカブリダニ類の発生状況(要旨)	九州病害虫研究会報(53)144

## 7) 学会誌等発表 (つづき)

発表者名	発表課題名	発表学会誌等名
Satoshi TODA, Shinkichi KOMAZAKI, Hiroki IZAWA, Ken NAKADA, Shuji KANAZAKI, Eiichirou SOUDA and Tomoko SHIGEHARA	Development of molecular diagnostics of the two point mutations in acetylcholinesterase gene associated with insecticide resistance in the cotton aphid, <i>Aphis gossypii</i> Glover, (Homoptera: Aphididae) and a survey of genotypic frequency in field populations	Appl. Entomol. Zool. 43(1) 127-133
寺井理治・稗圃直史・福田伸二・長門潤・佐藤義彦・浅田謙介・森田昭・中尾敬・富永由紀子・一瀬至・吉田俊雄・橋本基之	ビワ新品種「麗月」	長崎県果樹試験場研究報告(10) 1-13
稗圃直史・福田伸二・寺井理治	ビワにおける近年の育成品種および海外導入品種のビワがんしゅ病抵抗性	長崎県果樹試験場研究報告(10) 14-21
福田伸二・山本俊哉・富永由紀子・根角博久	ビワとバラ科ナシ亜科植物の属間雑種作出の試み	長崎県果樹試験場研究報告(10) 22-29
菅康弘・福田伸二・富永由起子・根角博久	台木用ビワ実生苗の地下部に発生したがんしゅ症状から分離された細菌の性状	長崎県果樹試験場研究報告(10) 30-40
田中実・林田誠剛・森田昭・中倉建二郎	ニホンナシ「新高」の結実管理の省力化	長崎県果樹試験場研究報告(10) 41-51
田中実・林田誠剛・松浦正	ハウス栽培モモの果実肥大促進のための環状剥皮の方法	九州農業研究発表会専門部会発表要旨集(70) 237
林田誠剛	袋かけによる「せとか」「麗紅」の果面傷害の軽減 — 果樹研究最前線 —	果実日本63(3) 52-54
徳嶋知則	ビワのハウス栽培 — 果樹の施設栽培 —	農業電化60(5) 2-5
福田伸二	黄白色で食味良好なビワ新品種「麗月」	施設と園芸139号61
稗圃直史	新品種の栽培技術(183) ビワ「涼峰」	果実日本63(1) 58-61
徳嶋知則	ビワのハウス栽培	すぐに役立つハウス栽培新技術99-104
荒牧貞幸	長崎県オリジナルミカン「させぼ温州」の高品質安定生産技術	躍動! Nagasaki むらづくり、ひとづくり(41) 11
福田伸二	早熟で大果が魅力 ビワ新品種「涼峰」	農耕と園芸2007年7月号 80-81

## 7) 学会誌等発表 (つづき)

発表者名	発表課題名	発表学会誌等名
稗圃直史	高糖系ウンシュウにおける高品質果実の連年安定生産のための枝しょう管理技術－優良結果母枝確保のための摘葉処理を中心として－	農業および園芸82(8)894-898
稗圃直史	ビワの品種	農業技術体系果樹編第4巻カキ・ビワ・オウトウ追録第22号基49-52, 基55-58
福田伸二	DNAマーカーによるビワの品種識別	農業日誌平成20年(2008)162-163
古川忠	ヒリュウ台「青島温州」は幼木期から高品質で中玉果実の生産ができる	長崎の果樹44(4)1
菅康弘	台風襲来時のカンキツかいよう病防除薬剤の散布適期	長崎の果樹44(5)1
宮崎俊英	ミカンサビダニの発生生態と防除方法	長崎の果樹44(5)10-12
稗圃直史	同時期に開花したビワ幼果の耐寒性の品種間差異	長崎の果樹44(6)1
荒牧貞幸	ハウスみかん仕上げ管理のポイントについて	長崎の果樹44(6)6-8
松浦正ら	落葉果樹の春季管理について	長崎の果樹44(6)10-12
松浦正	スモモ「りょうぜん早生」、「李王」、「太陽」間の交配親和性	長崎の果樹44(7)1
林田誠剛	中晩生カンキツ「せとか」の袋かけによる果面保護	長崎の果樹44(8)1
荒牧貞幸	園地でできる極早生ミカンの簡易な水分ストレス診断法	長崎の果樹44(8)10-12
寺本健	合成ピレスロイド剤に対する感受性が低下したモモハモグリガの防除薬剤	長崎の果樹44(9)1
福田伸二	幼葉1枚でビワの果肉色を判別する	長崎の果樹44(10)1
徳嶋知則	ハウスビワの加温前の重点管理	長崎の果樹44(10)10-12
井手勉	重油を使わず、煙を出さず廃棄果実を炭にする	長崎の果樹44(11)1
荒牧貞幸	極めよ！させば温州の収穫・貯蔵	長崎の果樹44(11)7-9
徳嶋知則	施設栽培ビワ「麗月」の樹体特性	長崎の果樹44(12)1
林田誠剛ら	落葉果樹の冬季管理のポイント	長崎の果樹44(12)8-11
田中実	ニホンナシあきづきの収穫適期	長崎の果樹45(1)1

## 7) 学会誌等発表 (つづき)

発表者名	発表課題名	発表学会誌等名
寺本健	ビワ園におけるオオタバコガの発生活長と有効薬剤	長崎の果樹45(2)1
松浦正ら	うまい落葉果樹を作ろう！春季管理を紹介します	長崎の果樹45(2)12-15
田中実	ニホンナシの溶媒受粉技術	長崎の果樹45(3)1
荒牧貞幸ら	果樹台木の特性とその選び方	長崎の果樹45(3)8-11
谷本恵美子	対馬市および韓国済州道の在来カンキツ日韓共同調査	長崎の果樹45(3)12-15
稗園直史	大果で早熟なビワ新品種「涼峰」	長崎新聞2007年4月1日号
田中実	気象から生育を予測	長崎新聞2007年9月16日号
福田伸二	ビワの品種判別技術の開発	長崎新聞2008年2月17日号
田中実	早生で食味良好なモモ品種「ふくえくぼ」	日本農業新聞2007年4月24日号
松浦正	ストレプトマイシンによるブドウ無核果の安定生産技術	日本農業新聞2007年5月22日号
菅康弘	台風襲来時のカンキツかいよう病防除剤の散布適期	日本農業新聞2007年6月19日号
荒牧貞幸	極早生温州「岩崎早生」の水分ストレス簡易診断法	日本農業新聞2007年8月14日号
菅康弘	ハウス天井部の早期被覆によるビワ果実腐敗の発生抑制	日本農業新聞2007年10月23日号
田中実	溶媒を用いたニホンナシの人工受粉	日本農業新聞2008年2月13日号
菅康弘・寺本健	長崎県におけるカンキツ類の後期病害虫防除のポイント	新農林技術新聞2007年9月5日号

## 7) 専門誌連載

発表者名	発表学会誌等名	発表内容	連載期間
宮崎 俊英 菅 康弘	長崎の果樹 長崎の果樹	病害虫防除 (びわ、落葉果樹) 病害虫防除 (びわ、落葉果樹)	2007年4月～12月 2008年1月、3月

## 2. 学会等における口頭、ポスター発表

発表者名	発表課題名	発表学会名	発表年月
林田誠剛	落葉果樹の休眠覚醒と品種及び台木利用技術	九州沖縄農業試験 研究推進会議果樹 推進部会研究会	2007年6月
田中実・林田誠剛・松 浦正	ハウス栽培モモの果実肥大促進のための環状 剥皮の方法	園芸学会九州支部 第47回大会	2007年8月
稗圃直史・福田伸二・ 寺井理治	近年育成あるいは海外から導入されたビワ品 種におけるビワがんしゅ病抵抗性	園芸学会九州支部 第47回大会	2007年8月
深町浩・稗圃直史・阿 部知子・今井篤・野中 圭介・岩崎光徳・佐藤 景子・高原利雄	重イオンビーム・ガンマ線照射によるカンキ ツ突然変異個体の作出	園芸学会九州支部 第47回大会	2007年8月
福田伸二・稗圃直史・ 寺上伸吾・山本俊哉・ 富永由紀子・根角博久	ビワの果肉色と連鎖したDNA マーカーの開発	園芸学会平成19年 度秋季大会	2007年9月
稗圃直史・福田伸二・ 寺井理治・佐藤義彦	ビワ果実諸形質の遺伝	園芸学会平成19年 度秋季大会	2007年9月
林田誠剛	ビワ葉とチャ葉が出会った時何が起きたか	園芸学会平成19年 度秋季大会	2007年9月
菅康弘	ビワ果実腐敗に関与する菌類の感染時期	日本植物病理学会 九州部会講演会 (九州病害虫研究 会共催)	2007年10月
田中実	施設栽培モモの開花期の環状剥皮による果実 肥大促進	落葉果樹研究会	2008年1月
生部裕子・菅康弘・古 賀敬一	露地ビワの果実腐敗に対する雨よけ栽培の効 果	九州病害虫研究会 第75回研究発表会	2008年1月
宮崎俊英・菅康弘・寺 本健	温州ミカンにおける化学合成農薬半減の防除 体系の検討	九州病害虫研究会 第75回研究発表会	2008年1月
寺本健	ミカンハダニのカンキツービワ間における寄 主転換の可能性	九州病害虫研究会 第75回研究発表会	2008年1月
野中圭介・高原利雄・ 今井篤・深町浩・松本 亮司・國賀武・吉岡照 高・三谷宣仁・稗圃直 史	カンキツ新品種‘西南のひかり’	園芸学会平成19年 度秋季大会	2008年3月



## 2. 学会等における口頭、ポスター発表（つづき）

発表者名	発表課題名	発表学会名	発表年月
今井篤・高原利雄・深町浩・野中圭介・松本亮司・吉岡照高・國賀武・三谷宣仁・稗圃直史	カンキツ新品種「津之輝」	園芸学会平成19年度春季大会	2008年3月

## 3. マスコミ等を通じた研究成果の発表

月日	内容	新聞社、放送局	担当科
4. 1	大果で早熟なビワ新品種「涼峰」	長崎新聞	育種科
4. 24	早生で食味良好なモモ品種「ふくえくぼ」	日本農業新聞	生産技術科
5. 22	ストレプトマイシンによるブドウ無核果の安定生産技術	日本農業新聞	生産技術科
6. 19	台風襲来時のカンキツかいよう病防除剤の散布適期	日本農業新聞	病害虫科
7. 21	水分ストレス計、させぼ温州、ビワ新品種「涼峰」	テレビ長崎	生産・育種
8. 14	極早生温州「岩崎早生」の水分ストレス簡易診断法	日本農業新聞	生産技術科
9. 5	長崎県におけるカンキツ類の後期病害虫防除のポイント	新農林技術新聞	病害虫科
9. 8	クリのイガと花が仲良く共存	読売本新聞	生産技術科
9. 16	気象から生育を予測	長崎新聞	生産技術科
9. 20	香酸カンキツ「ゆうこう」	西日本新聞	育種科
9. 21	残暑の高温が果樹へ及ぼす影響	西日本新聞（夕刊）	生産技術科
9. 22	残暑の高温が果樹へ及ぼす影響	西日本新聞（朝刊）	生産技術科
10. 12	対馬市および済州道に分布する在来カンキツの特性に関する日韓共同調査	長崎放送、長崎新聞、読売新聞	育種科
10. 21	ビワ「長崎15号」の品種開発について	朝日新聞	育種科
10. 23	ハウス天井部の早期被覆によるビワ果実腐敗の発生抑制	日本農業新聞	病害虫科
11. 23	気候温暖化に伴う農産物生産における影響と研究の対応	長崎放送	生産技術科
12. 7	させぼ温州品評会とミカンのおいしさワンポイント	日本放送協会	生産技術科
2. 13	溶媒を用いたニホンナシの人工受粉	日本農業新聞	生産技術科
2. 17	ビワの品種判別技術の開発	長崎新聞	育種科

## 3. マスコミ等を通じた研究成果の発表（つづき）

月日	内 容	新聞社、放送局	担当科
2. 22	長崎ザボン復活「紅まどか」	長崎放送	生産技術科

## 4. 地区別報告会における研究成果の発表

月日	関係普及センター	場 所	発 表 課 題	発表者名
7. 3	県央	大村市	極早生「岩崎早生」の高品質果実生産のための水分ストレス誘導法について  生産現場で利用できる極早生温州の簡易な樹体水分ストレス診断法について  「させぼ温州」の常温貯蔵における果実品質の変化について	生産技術科 荒牧貞幸
7. 20	県央	大村市	「させぼ温州」の常温貯蔵における果実品質の変化について	生産技術科 荒牧貞幸
8. 29	長崎	長崎市三和	ハウス天井部の早期被覆によるビワ果実腐敗の発生抑制について	病害虫科 菅 康弘
10. 5	長崎	長崎市大崎	ハウス天井部の早期被覆によるビワ果実腐敗の発生抑制について	病害虫科 菅 康弘

## 5. 長崎県果樹技術者協議会研修会における研究成果の発表

月日	場 所	発 表 課 題	発表者名
6. 8	諫早市	極早生温州「岩崎早生」の高品質果実生産のための水分ストレス誘導法	生産技術科 荒牧貞幸
		生産現場で利用できる極早生温州の簡易な樹体水分ストレス診断法	生産技術科 荒牧貞幸
		「させぼ温州」の常温貯蔵における果実品質の変化	生産技術科 荒牧貞幸
		新たに登録されるカンキツ「口之津34号」の果実特性	生産技術科 林田誠剛
		ニホンナシ「幸水」の溶媒受粉技術	生産技術科 田中実
		ハウス天井部の早期被覆によるビワ果実腐敗の発生抑制	病害虫科 菅 康弘

## V. 学会出席・職員研修

## 1. 学会出席

## 1) 学会出席

月日	学 会 名	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
8.28	九州農業研究並びに園芸学会九州支部発表会	研究会、学会 園芸学会	鹿児島市	生産・育種	2
9.28	園芸学会秋季大会		高松市	生産・育種	3
10.1 ～					
10.1 ～2	細菌病懇話会	植物病理学会	つくば市	病害虫科	1
10.30	九州病害虫研究会	病害虫研究会	鹿児島市	病害虫科	1
11.1	植物病理学会九州支部研究会	植物病理学会	鹿児島市	病害虫科	1
1.31	九州病害虫研究会	病害虫研究会	熊本市	病害虫他	4
3.27 ～29	園芸学会春季大会	園芸学会	厚木市	育種科	1

## 2) 海外学会等出席

月日	学 会 名	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
10.21 ～28	カンキツ類の海外探索調査	果樹試験場	済州道	育種科	1
11.13 ～15	農林科学技術交流訪中	長崎県	福州市	場長	1

2. 職員の研修

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
4.17	トレーナー制度説明会	人事課	長崎市	育種科	1
5.7 5.31 ~6.1	「失敗しない研究開発のコツ」研修会 企業会計中級研修	科学技術振興課 人事課	長崎市 長崎市	科長 総務課	3 1
6.5 6.6 6.12 ~15	管理職員研修 人事評価制度に係る研修会 知的財産権研修	人事課 人事課 科学技術振興課	長崎市 長崎市 東京都	研究企画室 場長 育種科	1 1 1
7.13 7.19 7.20 7.27 7.26 ~27 7.30 7.31 ~8.1	法令等研修 中級マネージメント研修 研究機関人材育成セミナー 危機管理特別セミナー ロジカルシンキング研修 知的財産研修 プレゼンテーション研修	人事課 人事課 科学技術振興課 人事課 人事課 九州経済産業局 人事課	長崎市 長崎市 長崎市 長崎市 長崎市 長崎市 諫早市	農事員 病害虫科 場長他 研究企画室 育種科 生産・育種 育種科	3 1 2 1 1 2 1
8.5 8.8 8.9 8.10 8.23	任用替えに係る説明会及び事前研修 パソコン（word）研修 パソコン研修 トップセミナー キャリアデザイン研修	人事課 人事課 人事課 人事課 人事課	諫早市 長崎市 長崎市 長崎市 長崎市	病害虫科 研究企画室 場長 場長 病害虫科	1 1 1 1 1
9.4 ~ 12.6 9.26	依頼研究員研修 知的財産セミナー	果樹試験場 産業振興財団	つくば市 長崎市	病害虫科 育種科	1 1
10.2 10.8 ~ 11.9 10.15 ~19 10.21 ~ 11.3	農業系知的財産研修会 バイオテクノロジー研修 新規採用職員後期研修 内容成分分析研修	科学技術振興課 農産園芸課 人事課 果樹試験場	諫早市 つくば市 長崎市 静岡市	場長他 育種科 育種科 育種科	6 1 1 1

2. 職員の研修(つづき)

月日	内 容	主 催	場 所	担当科等	果樹試 からの 出席
11.14 11.19 ~22	ブランディングに基づく品種名開発ワークショップ 研究員インターンシップ	科学技術振興課 果樹試験場	大村市 大村市	育種科他 育種科	5 1
12.13 12.12 ~14	農業系知的財産研修会 農林水産試験研究中堅職員研修会	科学技術振興課 農林水産省	諫早市 つくば市	場長他 病害虫科	6 1
1.18 1.18 1.21 ~25 1.22	農産物のブランディング第2回セミナー ブランディングに基づく品種名開発ワークショップ 研究員インターンシップ トップセミナー	科学技術振興課 科学技術振興課 果樹試験場 人事課	大村市 大村市 大村市 長崎市	場長他 育種科他 育種科 場長	5 3 1 1
3.11 ~12 3.17	実務研修移行者研修 実務研修移行者研修(OA研修)	人事課 人事課	長崎市 長崎市	病害虫科 病害虫科	1 1

## VI. 気象

## 1. 長崎県果樹試験場気象表

		平成 19 年								平 年 値						
月	半旬	気 温 (°C)			地温(°C)	降水量	日射量	湿 度	風 速	気 温 (°C)			地 温 (°C)			降水量
		平 均	最 高	最 低	20 cm	(mm)	(MJ)	(%)	(m/sec)	平 均	最 高	最 低	10 cm	30 cm	50 cm	(mm)
4月	1	11.5	16.7	6.9	16.5	3.0	16.9	52.9	2.3	12.2	17.5	7.3	14.0	14.2	13.9	14.4
	2	12.9	18.8	7.4	16.2	1.0	16.2	58.0	1.9	13.6	18.6	9.3	15.2	15.1	14.7	35.2
	3	15.4	21.7	9.8	17.5	3.5	18.8	59.4	2.3	14.1	19.0	9.4	15.7	15.8	15.3	22.3
	4	12.4	17.6	7.5	16.8	10.0	15.9	66.9	2.7	15.0	20.2	10.4	16.7	16.5	16.0	24.8
	5	16.5	20.4	13.1	18.0	77.0	11.7	73.4	2.4	15.6	21.1	11.1	17.5	17.4	16.8	22.0
	6	17.0	23.7	10.4	18.8	9.0	19.8	53.2	2.4	16.8	22.1	12.1	18.4	18.2	17.5	28.5
	平均	14.3	19.8	9.2	17.3	103.5	16.6	60.6	2.4	14.6	19.8	9.9	16.2	16.2	15.8	147.3
5月	1	17.6	21.4	14.4	19.2	53.0	13.9	73.8	2.9	17.1	22.0	12.9	19.0	18.9	18.3	34.0
	2	18.2	23.7	12.7	20.2	26.0	21.4	64.7	2.0	18.1	22.8	13.5	19.6	19.5	18.8	27.9
	3	18.3	24.9	12.2	20.9	5.0	23.6	54.3	2.3	18.8	23.5	14.2	20.4	20.2	19.6	33.2
	4	18.5	23.0	13.9	20.9	13.5	17.5	67.5	2.9	18.5	23.6	13.8	20.6	20.5	19.9	37.5
	5	20.9	26.4	15.5	22.1	16.5	19.2	63.7	2.6	19.7	24.7	14.6	21.5	21.2	20.6	17.1
	6	21.7	28.3	16.2	23.1	0.0	24.1	59.3	1.7	20.4	25.2	15.7	22.2	21.9	21.2	26.5
	平均	19.3	24.7	14.2	21.1	114.0	20.1	63.7	2.4	18.8	23.6	14.1	20.5	20.3	19.7	176.1
6月	1	21.4	26.1	17.6	23.2	7.0	14.3	67.2	1.5	21.2	26.0	16.6	22.8	22.5	21.6	30.1
	2	21.5	27.7	15.9	23.7	0.0	24.2	63.9	1.9	21.7	26.0	17.3	23.4	23.1	22.4	34.5
	3	21.7	25.6	18.1	23.5	39.0	12.0	74.4	1.8	22.9	26.1	18.1	23.7	23.4	22.8	42.0
	4	23.3	27.9	20.1	23.7	71.0	13.1	81.1	1.5	22.5	26.5	19.0	24.2	23.8	23.3	61.3
	5	24.2	26.8	21.9	24.5	13.0	7.0	82.4	3.0	22.9	26.5	19.7	24.5	24.2	23.7	71.3
	6	26.1	29.7	23.4	25.7	3.5	15.8	78.3	2.5	23.7	27.0	20.7	24.9	24.6	24.1	101.3
	平均	23.0	27.3	19.5	24.1	133.5	14.4	74.5	2.0	22.3	26.3	18.6	24.9	23.6	23.0	340.4
7月	1	24.9	28.0	22.2	25.9	71.0	8.9	82.3	2.8	24.6	27.8	21.7	25.7	25.3	24.6	69.0
	2	24.2	26.3	22.1	24.5	330.0	4.0	89.1	2.4	25.5	29.1	22.4	27.1	26.4	25.5	53.8
	3	25.7	30.2	22.7	26.1	27.5	15.9	77.0	3.1	26.1	29.5	23.2	26.8	27.0	26.2	48.5
	4	25.4	29.0	21.8	26.6	1.0	13.1	76.5	2.4	26.5	30.2	23.3	27.9	27.3	26.7	68.7
	5	26.7	31.3	22.7	27.2	0.0	17.7	71.1	1.6	27.3	31.2	23.9	28.7	28.2	27.3	39.4
	6	27.6	32.9	23.6	29.0	0.0	24.6	69.6	1.8	27.6	31.6	23.9	28.9	28.5	27.7	40.2
	平均	25.8	29.7	22.1	26.6	429.5	14.4	77.3	2.4	26.3	29.9	23.1	27.5	27.1	26.3	319.6
8月	1	27.5	31.8	24.2	27.6	76.0	14.5	73.3	2.7	27.7	31.9	24.1	29.5	28.9	28.2	19.9
	2	29.0	34.3	24.9	28.9	3.0	23.8	64.0	2.9	27.2	31.5	23.5	29.1	28.9	28.3	39.8
	3	28.8	33.2	24.9	29.0	5.5	19.0	64.6	4.0	27.4	31.5	23.7	29.0	28.7	28.6	26.7
	4	28.7	34.1	24.8	29.8	13.0	20.5	69.5	1.7	27.1	31.5	23.8	29.2	28.9	28.3	29.5
	5	28.1	32.8	24.7	29.2	30.5	19.0	74.2	1.9	26.7	31.0	23.1	28.7	28.6	28.2	34.5
	6	27.7	32.4	24.4	29.7	28.5	17.7	74.0	2.1	26.5	31.6	22.9	28.3	28.3	28.0	60.7
	平均	28.3	33.1	24.6	29.0	156.5	19.0	70.1	2.5	27.1	31.3	23.5	29.0	28.7	28.3	211.1
9月	1	26.6	31.5	23.3	28.4	20.5	16.6	76.3	2.2	25.5	29.9	21.9	27.8	27.9	27.8	39.4
	2	25.4	30.8	20.9	28.6	6.5	20.2	76.1	1.9	25.2	29.4	21.3	27.1	27.4	27.4	36.9
	3	26.4	33.2	20.6	28.0	8.5	18.2	63.1	1.8	24.1	28.5	20.3	26.2	26.7	26.8	34.2
	4	27.6	32.8	24.1	28.5	32.5	16.9	73.2	2.6	23.3	27.8	19.3	25.6	26.1	26.3	23.8
	5	26.6	31.8	23.0	28.8	0.0	15.7	69.5	1.6	22.5	26.8	18.8	24.9	25.6	25.6	28.8
	6	25.1	30.1	21.4	27.9	1.5	15.6	71.1	1.7	21.4	25.9	17.3	24.0	24.7	25.0	28.7
	平均	26.3	31.7	22.2	28.4	69.5	17.2	70.1	2.0	23.7	28.1	19.8	25.9	26.4	26.5	191.8

平年値は1971年～2000年の平均

VI. 気 象

		平成 19 年								平 年 値						
月	半旬	気 温 (°C)			地温(°C)	降水量 (mm)	日射量 (MJ)	湿 度 (%)	風 速 (m/sec)	気 温 (°C)			地 温 (°C)			降水量 (mm)
		平 均	最 高	最 低	20 cm					平 均	最 高	最 低	10 cm	30 cm	50 cm	
10月	1	24.1	30.6	18.8	27.0	0.0	18.8	62.8	1.6	20.9	25.9	16.6	23.4	24.1	24.4	10.5
	2	24.4	28.0	21.7	26.3	76.5	7.5	79.4	1.8	19.6	24.2	15.3	22.1	23.2	23.7	10.6
	3	20.2	26.1	15.4	24.7	0.0	14.2	60.3	1.9	19.4	24.3	15.0	21.5	22.5	22.7	17.6
	4	17.8	23.6	12.7	23.2	0.0	14.0	53.6	1.9	18.2	22.9	13.8	20.5	21.7	22.2	17.0
	5	18.0	25.1	11.7	22.0	0.0	16.4	53.6	2.0	17.2	22.3	12.5	19.4	20.7	21.4	8.0
	6	18.4	23.8	12.8	22.3	0.0	11.8	66.9	1.8	16.3	21.1	12.0	18.7	19.9	20.6	17.4
	平均		20.1	25.9	15.1	24.0	76.5	13.7	62.3	1.8	18.6	23.5	14.2	20.9	22.0	22.5
11月	1	15.2	19.9	10.2	20.6	14.0	9.2	61.0	1.7	15.4	20.6	10.9	17.5	18.9	19.5	11.5
	2	16.3	22.3	11.1	19.4	2.0	11.4	64.3	1.6	15.2	20.2	11.2	17.2	18.4	19.0	12.9
	3	13.7	19.5	9.1	18.6	0.0	11.8	57.8	2.3	13.9	18.5	10.0	16.1	17.5	18.3	11.1
	4	11.0	15.5	5.6	17.4	0.5	9.3	56.1	2.3	12.8	17.4	8.7	15.1	16.6	17.5	13.0
	5	10.5	17.2	4.5	15.8	0.0	12.6	52.4	2.1	11.4	16.2	6.9	13.6	15.5	16.6	14.8
	6	13.1	18.4	8.7	16.5	0.0	9.0	62.0	1.6	10.5	15.2	6.6	13.0	14.6	15.7	12.2
	平均		13.3	18.8	8.2	18.0	16.5	10.6	59.0	1.9	13.2	18.0	9.1	15.4	16.9	17.8
12月	1	9.2	13.6	5.0	15.2	17.0	10.8	56.1	2.4	9.7	14.5	5.6	11.9	13.6	14.7	8.3
	2	8.0	12.0	4.0	13.5	7.0	4.6	69.3	2.1	9.2	14.1	5.4	11.4	12.9	14.1	11.1
	3	10.4	14.0	7.9	13.2	16.5	4.3	71.6	1.8	8.1	12.7	4.2	10.5	12.3	13.4	6.3
	4	7.5	13.0	3.3	12.6	0.0	8.8	60.0	2.0	7.6	12.2	3.8	9.9	11.5	12.8	10.3
	5	10.8	14.5	7.4	12.0	41.5	5.7	66.7	2.0	7.3	12.0	3.7	9.5	11.0	12.2	9.6
	6	9.6	13.8	5.9	12.7	10.5	5.2	63.8	2.6	6.8	11.4	2.9	8.9	10.4	11.7	10.0
	平均		9.3	13.5	5.6	13.2	92.5	6.5	64.6	2.2	8.1	12.8	4.3	10.4	11.9	13.1

		平成 20 年								平 年 値						
月	半旬	気 温 (°C)			地温(°C)	降水量 (mm)	日射量 (MJ)	湿 度 (%)	風 速 (m/sec)	気 温 (°C)			地 温 (°C)			降水量 (mm)
		平 均	最 高	最 低	20 cm					平 均	最 高	最 低	10 cm	30 cm	50 cm	
1月	1	5.6	10.3	1.9	10.4	1.5	8.0	63.1	2.2	6.5	11.3	2.8	8.7	10.1	11.3	13.5
	2	8.9	14.7	4.1	11.6	2.5	8.8	72.0	1.9	6.4	10.8	2.8	8.3	9.8	10.5	9.3
	3	10.1	14.8	5.3	12.8	32.0	8.0	69.6	1.8	5.7	10.0	2.2	7.9	9.4	10.4	12.2
	4	6.3	10.9	1.5	11.5	31.5	9.1	62.4	1.8	5.5	9.8	1.9	7.6	9.1	10.2	9.5
	5	5.5	8.8	2.0	10.5	4.5	6.7	70.9	1.9	5.5	9.8	1.8	7.5	8.8	9.9	15.1
	6	5.9	8.9	3.6	9.8	14.0	5.8	62.6	1.7	5.0	9.8	1.3	7.4	8.7	9.7	6.3
	平均		7.0	11.3	3.1	11.1	86.0	7.7	66.6	1.9	5.8	10.2	2.1	7.9	9.3	10.3
2月	1	5.1	8.9	1.4	9.5	14.0	8.1	62.1	1.7	5.2	9.6	1.5	7.3	8.6	9.5	12.4
	2	4.7	10.3	-0.8	9.5	1.0	11.3	56.2	2.0	5.7	10.3	2.0	7.7	8.8	9.6	9.8
	3	4.6	9.3	0.2	9.8	0.0	13.4	48.4	2.2	6.9	11.7	2.7	8.2	9.1	9.8	14.7
	4	4.4	10.6	-1.3	10.0	0.0	15.4	49.7	2.2	6.6	11.3	2.8	8.6	9.4	10.1	22.2
	5	6.7	12.1	0.8	10.6	4.0	11.9	58.6	2.2	6.7	11.4	2.9	8.8	9.6	10.2	16.5
	6	7.4	12.3	3.1	10.5	39.5	11.7	61.4	2.7	6.9	11.5	3.0	9.0	9.8	10.3	10.0
	平均		6.3	10.5	0.5	10.0	58.5	12.0	55.9	2.1	6.3	11.0	2.5	8.3	9.2	9.9
3月	1	7.7	12.4	3.1	11.1	1.5	13.8	59.9	2.6	7.7	12.4	3.4	9.4	10.3	10.7	16.1
	2	8.0	13.6	2.5	11.5	8.5	15.9	66.2	1.8	8.8	13.9	4.4	10.3	10.8	11.1	15.8
	3	12.2	19.8	4.7	13.4	18.0	18.0	61.3	2.1	9.2	14.0	4.9	10.8	11.4	11.6	23.9
	4	11.6	17.5	6.2	14.2	19.0	13.3	67.7	2.0	9.8	14.8	5.3	11.4	12.0	12.1	16.1
	5	12.6	18.2	7.2	14.5	22.5	15.9	62.9	2.7	10.4	15.3	6.2	12.2	12.7	12.7	21.2
	6	10.0	14.8	6.1	14.2	30.0	14.3	66.4	2.1	11.6	16.2	7.4	13.0	13.3	13.2	24.4
	平均		10.3	16.0	5.0	13.2	99.5	15.2	64.1	2.2	9.6	14.4	5.3	11.3	11.8	12.0

平年値は1971年～2000年の平均

印 刷 平成 2 0 年 1 0 月

発 行 平成 2 0 年 1 0 月

編 集 長崎県果樹試験場

発行人 濱口 壽幸

発行所 長崎県果樹試験場

〒 856-0021 長崎県大村市鬼橋町 1 3 7 0

TEL 0957-55-8740

FAX 0957-55-6716

印刷所 有限会社 合同印刷